事務事業評価表(令和 2年度)

	事業コード	8			課コード		0201	会計和	□ 別 一 舟	设会計			予算の	種類	■政策	■経常	□なし	
1.	事業の概要 (PLAN)																	
		①事業名	基本事業						実施	を計画への		有 〇無		 ②部課名	企画財政部	· 企画理		
				平和事業の					立置づけ									
		③事業主体 ⑤事業期間	●п	●市 ○その他(~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~						象地区 当職員数	□我孫子	□天王台 	□湖北 					
(1)	事業概要	⑦事業費	総事業費			0 千円				(開始)年度	(当 初)	6	6,596 千円	千円 (うち人件費 4,350 千円)				
		(人件費含む)	施策			重占プロ	コジェクト		其太	計画地区別	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)		
		⑧施策の位置づけ	コード		51102	への位	位置づけ	重点なし	計画	への位置づけ)有 ●無		位置づけ	(計画名)			
(2)	目的	施策目的 · 展開方向	マとした学				発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテ まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支			事業目的		体と連携しながら、 思いを強めてもら		の記憶をきちんと	: 次世代に伝え	ることにより、	多くの市民が平	
		2					、原爆や戦争の記憶をきちんと次の世代に伝え、より多くの市民					令和3年3月 市民						
			・市内中学	生に平和に	こついて学んでも	よう事業を実施する。 らうよう広島・長崎にス は学生などを中心に始まる		こかど 派遣体験:		当該年度 执行計画	実施)	・広島市への中学: -12月 「平和の集				17世争来(丁月	ミルガ つ ブルしい	
(3)	事業内容	内 容	内 容 若い世代に、平和事業により積極的に関				学生などを中心に始まった「平和リレー講座」など、派遣体験をもつ 関わってもらえるような取り組みを検討していく。 た「平和の灯」や「サダコ鶴」などを活用した取り組みも検討してい			W.11 B1 E		12月 戦後75年平		5千和で願り。	」 の用 唯			
		・平成27 (2015) 年度に新たに設置した「平和の灯」や「サダコ鶴」などを活用した取り組みも検討して く。								当該年度	平和事業推進	市民会議(拡大会	議を含む)の関	昇催数	単位	想定值		
(4)	達成目標(期待する成果)				達成日	標(期待する成果)				助結果指標 					単位	実績値 (5) 現況値	(6)目標値	
_	当該年度	広島(長崎)市に 思いを強めている	生の発表を		とで、市民が戦争や核	-	間接	派遣中学生発表 度の来場者数)	表会の来場者数の		手度の来場者数 /		100					
	令和 3年度		派遣した中学	生の発表を	を聴いてもらうこ	とで、市民が戦争や核	兵器の恐ろしさについ	て考え、平和の尊	<u>き</u> への	間接		表会の来場者数の	増加率(2020年	手度の来場者数 /	′2021年 %		105	
	令和 4年度	思いを強めている	0			とで、市民が戦争や核				間接	派遣中学生発 度の来場者数)	表会の来場者数の ⁵)	増加率(2022年	∓度の来場者数/	′2023年 %		110	
(7)	事業実施上の課題と対応	1000000				『業に携わってもらう必§]事業により積極的に参加				替案検討	С)有 ●無						
			平成314	年度			令和 2年度	Ę			令:	和 3年度			令和	1 4年度		
		政策	内 容		金額(千円)	政策内	容	予算額(千円)	決算額(千円)	束:	内	容	金額(千円)	政策	内 容		金額(千円)	
		■市民会議の選 委員報償費			68		•				会議の運営 報償費 (5回)		68		義の運営 賞費 (5回)		68	
		市民会議委員	版市民会議委員報償費 (2回) 30 会議委員研修 40 平和新会式典への中学生派遣 ((中学生12人、市民委員1人) 1,592			* 委員報償費 (35人) (拡大会議舎)				■広島	会議委員研修 平和記念式典へ(18	■長崎平和	銭委員研修 □祈念式典への		18	
		旅費(中学生				2 旅費(中学生12	■広島平和記念式典への中学生派遣 旅費(中学生12人、市民委員1人) 925 旅費(教育長、職員3人) 288			旅費	(中学生12人、i (教育長、職員) 料(中学生12人。	3人)	924 290	旅費(教	1, 592 489 7			
	実施内容	施内容 保険料(中等		R費(教育長、職員3人) 489 R険料(中学生12人、市民委員1人) 7 将耗品(中学生用帽子)の購入 10			(秋月坂、城貝3人)			消耗	品(帽子、熱中 和の集い」の開	症対策)の購入	15	7 保険料(中学生12人、市民委員1人) 15 消耗品(帽子、熱中症対策)の購入				
(8)	施行事項	■「平和の集し	の集い」の開催 ・・プログラム作成 30 18 18 18 142 18 18 19 19 19 19 19 19			■「平和の集い」開催 チラシ・プログラム作成 60				チラ	シ・プログラムを			■「平和の集い」の開催 30 チラシ・プログラム作成 18 出演者の食糧費				
		出演者の食料 施設・備品係					出演者の食糧費 20 施設・備品使用料 151				・備品使用料 等の講師報償費		142 50	50 講演等の講師報償費			18 142 50	
		■リレー講座の 消耗品の購力					施(消耗品の購入)	200 16		■灯ろ	一講座の実施(注	消耗品の購入)		16 ■リレー講座の実施 (消耗品の購入) ■灯ろう流しの実施 56 消耗品の購入				
		消耗品の購力				* ■灯ろう流しの実 9 * 消耗品の購入	* 消耗品の購入 56			回収	品の購入 用ボートの借上!		10	回収用オ		56 10		
						2 * ■「平和の祈り」				■半和	百長会議メンハ・	ーシップ納付金	2	2 ■平和首長会議メンバーミ			2	
	予算 (決算) 額 国庫支出金	補助率	計	0 %	2, 472	2 合	<u>計</u> 0 %	2, 246		補助率	合 計	0 %	1, 646	: ;) 補助率	合 計	0 %	2, 513	
(0)	県支出金	補助率		0 %	(11111 12 1	0 % 0 %	0		補助率		0 % 0 %	C	補助率		0 % 0 %	0	
(9)	財源内訳 <u>――般財源</u> 一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	2, 472	2 □特会 □受益	■基金 □その他	1, 646 600			会 口受益 口基金	金 口その他	1, 646 0	6	□受益 □基金	口その他	2, 513 0	
(10	換算人数(人) 正職員人件費				0. § 4, 400	0		0. 5 4, 350					0. 5 4, 350				0. 5 4, 350	
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額)	0	0						0				0	
	費(予算(決算)額+正職員人件費))単位費用 (事業費/活動結果指標)		1, 374. 4千	円/回	6, 872	2	659.6千円/回	6, 596					5, 996				6, 863	
	(事未見) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /																	
	事業の評価(DO+CHECK	0																
	事業の評価 (DO+CHECH _{評価項目}	0			事	前評価					事後評	価(評価結果に	応じ、改善案様	倹討(拡充も含む	3))		改善検討	
	評価項目	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次	世代に伝え、	平和の尊さ	分争が絶えない状 さを考えていくこ	: : とが、より一層求められ	れている。平和事業に	携わる若者を増や		在認での想定 を認での想定			応じ、改善案材	倹討(拡充も含 む	3))			
	7	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次 していくためには みを継続していく	世代に伝え、 、中学生を広 必要がある。	平和の尊さ 島や長崎に	分争が絶えない状 さを考えていくこ こ派遣して被爆の	: 記にある。被爆者の平均	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	〇②事前	権認での想定	どおり どおりでなかっ		応じ、改善案材	食討(拡充も含む	3))		改善検討 〇要 〇不要	
	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次 していくためには みを継続していく 実施する必要があ	世代に伝え、 、中学生を広 必要がある。 る。	平和の尊さ 島や長崎に また、様々	分争が絶えない状 さを考えていくこ に派遣して被爆の なな視点で平和事	☆沢にある。被爆者の平は とが、より一層求められ シ実相を知ってもらい、 で業を企画するため、被外	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前码	権認での想定 りとした理印	どおり どおりでなかっ; 由/想定どおりて	たでなかった原因>					〇要	
必	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次していくためにはみを継続していく実施する必要があ 〇①民間企業、N (理由) □法令等	世代に伝え、 、中学生を広 必要がある。 る。 NPO、市民	平和の尊さ、 島や長崎に また、様々 団体等では第一ることが定	分争が絶えない状きを考えていくここ派遣して被爆のなな視点で平和事	だ況にある。被爆者の平5 とが、より一層求められ ○実相を知ってもらい、	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前码 <想定どお □①民間1 □②市が3	在認での想定 りとした理由 企業、NPO 主導で進めな	どおり どおりでなかっ; 由/想定どおりて	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった		乗討(拡充も含む		1>	〇要	
	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次 していくためには みを継続していく 実施する必要があ 〇①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主 □その他	世代に伝え、、中学生を広必要がある。 る。 NPO、市民Eで市が実施す 体が市しかな	平和の尊さ 場や長崎にまた、様々 団体等では つることが定	分争が絶えない状とを考えていくここ派遣して被爆のマな視点で平和事実施できない。	、沢にある。被爆者の平はとが、より一層求めらえ ・とが、より一層求めらえ ・実相を知ってもらい、・ ・業を企画するため、被外 <その他の内容>	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前石 <想定どお □①民間1 □②市が5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	権認での想定 りとした理目 ・ 大き導体と ・ 大きなった ・ 大きなった ・ 大きない 策・ 大きない 策・ 大きない 策・ 大きない 策・ 大きない 策・ 大きない ままる こうかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	どおりでなかった。 は一想定どおりて 、市民団体等でければ実効性がたことで市民へ、 施策の目標の実	た でなかった原因> は実施できなかっ: なかった 普及が一層				1>	〇要 〇不要	
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次 していためには みを継続していく 実施する必要があ ○①民間企業、ト等 □提供主 □その他	世代に伝え、広い、中では、中学がある。 NPO、市底のでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	平和の尊さな。 また、様々 団体ことが定 のもことが定 あるり実	分争が絶えないがきを考えているというとを考えているというというできる。 では遺して被爆のでな視点で平和事 実施できない。 とめられている	(況にある。被爆者の平はとか、より一層求めら)実相を知ってもらい、子業を企画するため、被対 < その他の内容>	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前	権認での想定は りとし、N進と い進と、 で役た、政準と が推送の が進と が発力を が発力を が発力を が発力を が発力を が発力を が発力を が発力を	どおりでなかった。 は一想定どおりて 、市民団体等でければ実効性がたことで市民へ、 施策の目標の実	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した				1>	〇要	
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	戦後75年を迎える や戦争の記憶を次 していくためには みを継続していく 実施する必要があ 〇①民間企業、 (理由) □法令等 □程の他 ●②自治体である (理由) ■市が主 ■市が主	世代に学ある。 Prinkinkinkinkinkinkinkinkinkinkinkinkinki	平和の尊さない ・ はない ・ ない ・ ない ・ さいとこと ・ ない ・ とこと ・ こる	分争が絶えない状とを考えているというというというというというというというというというできます。 実施できない とこの というという というという というという はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	(況にある。被爆者の平はとか、より一層求めら)実相を知ってもらい、子業を企画するため、被対 < その他の内容>	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前	権認での想定 りとし、N進と トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した				1>	○要 ○不要	
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次していくためには、みを継続していく実施する必要がので、「理由」の「法令等」の「理由」の「理由」の「理由」の「理由」の「理由」の「理由」の「理由」の「理由	世、必る。 トで体	平和の尊さない ・ はない ・ ない ・ ない ・ さいとこと ・ ない ・ とこと ・ こる	分争が絶えないがきを考えているというとを考えているというというできる。 では遺して被爆のでな視点で平和事 実施できない。 とめられている	(況にある。被爆者の平はとか、より一層求めら)実相を知ってもらい、子業を企画するため、被対 < その他の内容>	れている。平和事業に その体験を次の世代に	携わる若者を増や 伝えていく取り組	○②事前	権認での想定 りとし、N進と トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した				d>	○要 ○不要	
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次してかめには、みを継続している実施するので、10世界では、10世界が、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界では、10世界が、10世界では、10世界が	世代に学ある。 Pで体が市市市で進程証こる ・で体がが推め供証こる ・ではいばなられている。 のではいばないでは、 のではいばないでは、 のではいばないでは、 のではいばないでは、 のではいばないでは、 のではいばないでは、 の	平和の長棒をでした。 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中	分争が絶えない状とを考えているというというというというというというというというというできます。 実施できない とこの というという というという というという はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	(況にある。被爆者の平はとか、より一層求めら)実相を知ってもらい、子業を企画するため、被対 < その他の内容>	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 工夫の具体的な内容	携わる若者を増や伝えていく取り組を含む市民会議を	○②事前で <想定どお □①民間1: □③市が9: □③市が9: □⑤サート □⑥サート ○⑦その他の	権認での想定 りとした理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 保された	たでなかった原因> は実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施の	の具体的な内容・			○要 ○不要 ○要	
必要性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次していくかとがある必要がある必要があの①民間企業、等(理由)□提会の他のでは、第一位は、第一位では、第一位は、第一位では、第一位は、第一位は、第一位は、第一位は、第一位は、第一位は、第一位は、第一位	世、必る P で体	平島また 第二 中国	分争が絶えない状とを考えているというというというというというというというというというできます。 実施できない とこの というという というという というという はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	(況にある。被爆者の平はとが、より一てもらい、では、大知ってもらい、では、大知ってもらい、被ができる。 マーマー マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 エ夫の具体的な内容 まで、市民会議で実 、高校生など幅広い	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を含む市民会議を 他しており、会議に 世代が参加している	○②事前研 <想定どお □①民間1□②市が終 □②市が終 □③サート □③サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート □③・サート	権認での想定 りとした理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等で ければ実効市民へ 施策の目標の実 保された 総基盤が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施の O①当初 O②当初 O②当初 O②当初 O②当初 O②当初 O②当初 O③当初 O④	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり	必要性の理由		○要 ○不要 ○要	
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次はないくしているを継続していく実施する必要があり、「国間口法会のは、一旦のでは、一旦のである。(理由)を発表のは、「日本のである。(理由)を対して、「日本のである。(理由)を対して、「日本のである。(理由)を対して、「日本のである。(理由)を対して、「日本のである。(理由)を対して、「日本のである。)(日本のである。(日本のである。)(日本のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	世、必る Pで体 高導施がする トラー で体 高導施がする トラー がで 提保証こる ・ 参 民民活活 がずられ か ののの参として、下民活活 は 傾 画画画連	平島ま 団るい べとこるよ 動 有有有の長、 でが ないきにとい 政 容の はた る りりりり	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 でなでは、できない。 実施できない。 をあられている。 を対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> くその他の内容> ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た	れている。平和事業に その体験を次の世代に 最者・大学生・高校生 工夫の具体的な内容 まで、校生など幅失が に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 りとした理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等で ければ実効市民へ 施策の目標の実 保された 総基盤が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施の 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次していくためにはみを継続していく実施する必要 「民間企業、等は理由」「日間企業、等主での他とは、日本のでは	世、必る Pで体 高導施がする トラー で体 高導施がする トラー がで 提保証こる ・ 参 民民活活 がずられ か ののの参として、下民活活 は 傾 画画画連	平島ま 団るい べとこるよ 動 有有有の長、 でが ないきにとい 政 容の はた る りりりり	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 でなでは、できない。 実施できない。 をあられている。 を対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> くその他の内容> ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 エ夫の具体的な内容 ま。で、た生なと幅に広い 校演劇部や中央学院	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 りとした理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等で ければ実効市民へ 施策の目標の実 保された 総基盤が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施の 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	戦後75年を迎える次はや戦争の記憶を次はしていくたとでいくたといく大実施するのでは、1 日間 口法令供主の (理由) 「日間 日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	世、必る Pで体 高導施がする トラー で体 高導施がする トラー がで 提保証こる ・ 参 民民活活 がずられ か ののの参として、下民活活 は 傾 画画画連	平島ま 団るい べとこるよ 動 有有有の長、 でが ないきにとい 政 容の はた る りりりり	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 でなでは、できない。 実施できない。 をあられている。 を対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> くその他の内容> ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た	れている。平和事業に その体験を次の世代に 最者・大学生・高校生 工夫の具体的な内容 まで、校生など幅失が に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 りとした理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等で ければ実効市民へ 施策の目標の実 保された 総基盤が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施の 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次しているかいくかいくからには、みを継続る必のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	世、必る Pで体 高導施がする トラー で体 高導施がする トラー がで 提保証こる ・ 参 民民活活 がずられ か ののの参として、下民活活 は 傾 画画画連	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携し でにと 助 内 りりり ていない ない ない ない ない かんりり でにと い かん かんしん いんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 でなでは、できない。 実施できない。 をあられている。 を対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> くその他の内容> ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た	れている。平和事業に その体験を次の世代に 最者・大学生・高校生 工夫の具体的な内容 まで、校生など幅失が に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 リとした理由 ・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等で ければ実効市民へ 施策の目標の実 保された 総基盤が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施の 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性 参加・協働の工夫	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	戦後75年を迎えるや戦争の記憶を次しているかいくかいくからには、みを継続る必のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	世、必る Pで体 の導施・大場の 下で体 の導施・大場の B 民民民活業 配い ののの動き 配い はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいま	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携し でにと 助 内 りりり ていない ない ない ない ない かんりり でにと い かん かんしん いんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 でなでは、できない。 実施できない。 をあられている。 を対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> くその他の内容> ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た ・た	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 ままで、大学生・高校生 ままで、本生を幅で実 、高校生の中央学院 講座は、歴代の派遣 分が市内に在住して	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 リとした理由 ・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でがたことを関係をはいる。 施策の目標のまた。 施策のおた。 保含基盤が確保さき。 動の具体的な内容。 えられる場合には	たでなかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た	の具体的な内容・参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下 に以上となった理 環	・必要性の理由 ・例の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎えるや戦争のにはくを変していると継続を多いたにはみを継続を必要では、「関ロは関ロは、一のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等生のでは、「できない。」では、「できないるいい。」では、「できないるいい。」では、「できないるいるいるいるいるい。」では、「できないるいるい。」では、「できないるいるいるいるいるい。」では、「できないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるい。」では、「できないるいるいるいるいるい。」では、「できないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	世、必る P で体 お導施ス援図 では、 P 市が市 推め供証こる から R 民民民活業 にしてて が P 市が市 推め供証こる かのの動と実 慮 いるる に	平島ま 団るい ぺとこるよ 伽 有有有携 でがた なりよ 策 容 しい 内 りりり に 点 ない かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 ですな視点でできない。 実施できないる。 実施られている。 と対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> 「本の体の内容」 本の体の内容。 本の体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 ままで、大学生・高校生 ままで、本生を幅で実 、高校生の中央学院 講座は、歴代の派遣 分が市内に在住して	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 リとした理由 ・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でがたことを関係をはいる。 施策の目標のまた。 施策のおた。 保含基盤が確保さき。 動の具体的な内容。 えられる場合には	たでなかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施の ○①当前の ○②当前 ○②割前 ○②割定	か具体的な内容・参加・協 期待した以上 期の期待したとおり の期待以下 に以上となった理	・必要性の理由 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はを次にくるといい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	世、必る P 市が市 がで 接い で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	平島ま 団るい ぺとこるよ 伽 有有有携 でがた なりよ 策 容 しい 内 りりり に 点 ない かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 ですな視点でできない。 実施できないる。 実施られている。 と対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> 「本の体の内容」 本の体の内容。 本の体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 ままで、大学生・高校生 ままで、本生を幅で実 、高校生の中央学院 講座は、歴代の派遣 分が市内に在住して	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 リとした理由 ・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でがたことを関係をはいる。 施策の目標のまた。 施策のおた。 保含基盤が確保さき。 動の具体的な内容。 えられる場合には	たでなかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施の ○①当前の ○②当前 ○②割前 ○②割定	の具体的な内容・参加・協 期待したとおり の期待したとおり で以上となった到 ではよりでなかっ	・必要性の理由 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た	容	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要	
必要性参加・協働の工夫 環境	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はか戦争ののにはいるをといいないとしていると継続ののためにいるを継続ののといいながので、一日のは、一日のは、一日のは、一日のは、一日のは、一日のは、一日のは、一日のは	世、必る P 市が市 がで 接い で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	平島ま 団るい ぺとこるよ 伽 有有有携 でがた なりよ 策 容 しい 内 りりり に 点 ない かんし かんし かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	分争が絶えないがきを考えている。 を考えている。 ですな視点でできない。 実施できないる。 実施られている。 と対性が得らなしい。 を対性が得らなしい。 を対し、 をがし、	(況にある。被爆者の平は ととが、より一てもらい、 実相を知ってもため、被対 くその他の内容> くその他の内容> 「本の体の内容」 本の体の内容。 本の体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一体の一	れている。平和事業に その体験を次の世代に 暴者・大学生・高校生 ままで、大学生・高校生 ままで、本生を幅で実 、高校生の中央学院 講座は、歴代の派遣 分が市内に在住して	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんかん かいしん しんかん かいがい かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい か	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 リとした理由 ・	どおりでなかった。 由/想定どおりて 、市民団体等でがたことを関係をはいる。 施策の目標のまた。 施策のおた。 保含基盤が確保さき。 動の具体的な内容。 えられる場合には	たでなかった原因> は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施の ○①当前の ○②当前 ○②割前 ○②割定	の具体的な内容・参加・協 期待したとおり の期待したとおり で以上となった到 ではよりでなかっ	・必要性の理由 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た	容	○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はを少していくを継ばからいくもを継ばからいいくかを継ばののにはいいががの。企業令性性のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	世、必る P 市が市 がで 接い で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	平島ま か 有有有携 でいた まり 内 りりてい は	分争が絶えないがます。 ないがまたでは、 ないできた。 ないできた。 ないできたいできない ないできない ないできないできない ないできない ないできない ないできない ないでき	(況にある。被爆者の平ら、ととが、ととなりのでは、というでは、一をある。 をはいってものが、一をでは、一をでは、一をでは、一をでは、一をでは、一をでは、一をでは、一をでは	れている。平和事業に その体験を次の世代に その体験を次の世代に 異者・大学生・高校生 エ夫の具体的な内容 まで高校生 まで高校生の中の派して は、液)が市内に在住して 取組む内容	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんしん かいしん しんしん かいしん かいしん かっぱい しんしん かっぱい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんか	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権記のの た 理印 の なっ ・ 確 供 の た で	どおりでなかった。 ・ 想定どおりでなかった。 ・ 市民団体等でが、 ・ 市れば、 ・ 市れば、 ・ 市民団大学でが、 ・ 市民団大学でが、 ・ 市民団大学でが、 ・ できれが、 ・ では、 ・ にない、 ・	た でなかった原因> は実施できなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施の O①当当初 O②当初 <期待しが O②想定 <想定とが	の具体的な内容・参加・協 期待したとおり の期待したとおり で以上となった到 ではよりでなかっ	・必要性の理由 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た	容	○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はかいくかのでは、100mmのでは、	世、必る P 市が市 推め供証こる か	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 でいた 等と ちにと 政 容 いくとこるよ り 内 りりりている よりよ 策 容 のりり くし 点 こ (%)	分争が絶えない。 ないでは、 ないでは、 ないでは、 できるできない。 できるできない。 できるできない。 できないできない。 できない。 できない、 できないい、 できないい、 できないい、 できないい、 できないい、 できないい、 できないい、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(沢にある。被爆者の平らたと実相をから、被爆者のから、を実相を企画である。 マーク・ マーク・ 実現では、ままさって でんしょ まま きょう でんしょ は まま きって でんしょ まま きって でんしょ は まま きって でんしょ まま きって でんしょ という でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう アーク・ 実現性 グランド まま きょう アーク・ 実現 は まま さい アーク・ 実現 は まま さい アーク・ 実現 は まま さい アーク・ 実現 は でんしょう アーク・ 実現 は まま ない アーク・ 実現 は まま ない アーク・ 実現 は まま ない アーク・ 実現 は でんしょう アーク・ 実現 は まま ない アーク・ 実現 は アーク・ アーク・ アーク・ アーク・ アーク・ アーク・ アーク・ アーク・	れている。平和事業に その体験を次の一個では その体験を生・高校生 を表す。 一個では では、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	携わる若者を増や組 伝えていく取り組 を合うできます。 会議に を合む市民会議 を 世代学とが きずゆして じんかく サウ学生が してして なっぱい しいして かっぱい しんして かっぱい しんしん かいしん しんしん かいしん しんしん かいしん かいしん かっぱい しんしん かっぱい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんか	○②事前で <想定どお □①民間1 □②市が3 □③市が4 (中市の3 □⑤サート □③・サート □③・マの他の マその他の	権認での想定 理目のなった では、 N進と 取準安 ト・ 公本と 取準安 ト・ 企主 売られたが 水の ト・ 企 を 地内の ・ ・ 企 を 協考:	どおりでなかった。 ・ 想定どおりて ・ 、 市民団体等でが、 ・ 市ればいででででいます。 ・ では、 ・ 施保をはないでは、 ・ 施保をはないでは、 ・ 施保をはないでは、 ・ をはないでは、 ・ では、 ・ では	たでなかった原因>は実施できなかった意とが一層現に貢献したれた	た	か具体的な内容・参加・協 期待したととおり ではなった理 はとなった理 ではおりでなかった原	・必要性の理由 ・例の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た 原因>	容	○ 要要 ○ ○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はやサースを対象のでは、1000 では、1000 で	世、必る P 市が市 がで、 は、 で体 は、 で体 は、 で体 は、 で体 は、 で体 は、 で体 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	平島ま dan control of the control of	分争が絶えていないくないない。ないでは、 ないできるでは、できるできるできる。 実施られているできるできるできる。 実施られているのでは、 はないできるできるできる。 はないできるできるできる。 はないできるでは、 はないできるでは、 はないできるできる。 はないできるでは、 はないできるできる。 はないできるできる。 はないできるできる。 はないできるできる。 はないできるできるできる。 はないできるできるできる。 はないできるできるできる。 はないできるできるできる。 はないできるできるできるできる。 はないできるできるできるできる。 はないできるできるできるできる。 はないできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできるできるできるできるできる。 はないできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	に決している。被爆者のあい、被燃者のあい、被燃者のあい、を実相を企め、と実相を企め、の内内の内内の内内の内内の内内のの他のの内内のの他の方式をある。 「またって、おりり、たった」 「本業によりり、またらで、おりり、またらで、おりり、またらで、おりり、またらで、おりり、またらで、おりり、またらで、おりり、なり、またらで、おりり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、な	れている。平和事業に その体験を次の世代に その体験を生・高校生 を表す・大学生・高校生 ま、高減劇は、歴代住して を高減動は、歴代住して 取組む内容 取組む内容	携わる若すなり 様に表えています。 施してお参加連携を を含む市民会議を 他世代とも中心となった。	○②事前で <想定どお □①市が発 □②市促作する。 □③・でのである。 □⑤・サートである。 ○○・でもののでする。 ○○・でもののでする。 ○○・でものできる。 ○○・でものできる。 ・でをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	権認での想定 理目のなった では、 N進と 取準安 ト・ 公本と 取準安 ト・ 企主 売られたが 水の ト・ 企 を 地内の ・ ・ 企 を 協考:	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でがたいた。 施策の市民の場合では、 市成では、 ・市には、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	か具体的な内容・参加・協 期待したととおり ではなった理 はとなった理 ではおりでなかった原	・必要性の理由 ・例の程度・内 理由/期待以下 境への配慮 た 原因>	容	○ 要 ○ 要 ○ 要 ○ 不 ● 要 ○ 不 ● 要 ○ 不 ● 要 ○ 不 ● 要 ○ 不 ● 要 ○ ○ 不	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はかいくかのでは、100mmのでは、	世、必る I で体 お 導施ス接図	平島ま 団るい ぺとこるより の 有有有携 で かく さにと め の	分争が絶えないがまた。 ないが発えている を考えし、でないが、これでは、できたが、できたが、できたが、できたが、できないいではないいいできないいできないいでは、できないいできないいできないいいできないいできないいが、できないいが、できないいできないいが、できないいいできないが、でき	で記している。被爆者の平ら、 は	れている。平和事業に その体験を次の高校生 ・大学生・高校生 ・大学・大学生・ ・大学・大学・ ・大学・ ・大学・ ・大学・ ・大学・ ・	携わるおいておおり、 しておかり、 しておかり、 してがきをできながらないでは、 との世代となってなった。 と現況値の差)と	○②事前で <想定どお □①市が発 □②市促作する。 □③・でのである。 □⑤・サートである。 ○○・でもののでする。 ○○・でもののでする。 ○○・でものできる。 ○○・でものできる。 ・でをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	を を で で で の た で の た で の た で の た で の た で の た の に で の た の は に の は で の た の な 、 で の た の な の で の た の を の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の 。 に 。 の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でがたことを目標の場合には、 施策の目にをきなが確保さい。 を表も基盤が確保さい。 はた具体的な内容のでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないではないではないではないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	た でなかった原因> は実施できなかっ 音及が、	た	の具体的な内容・参加・協 期期待したとおり したたとおりの期待ととなった到 ではよりでなかった原 はどおりでなかった原 なとなった原因>	・必要性の理由 ・必要性の理由 ・例の程度・内 ・関係の配慮 ・た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容であった原因ン	○ 要要 ○ ○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次は や戦かのくにくかを継ずののににくかを継ずののにからにして、 大き継ずのでは、 のでは、	世、必る J で体 ら 導施ス接図	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 視 いるい くとこるよ 助 有有有携 根 いるいく さにど 政 容 いりりりている まりよ 策 容 (d) (%) [■[[[分争が終えていないくないは、 ないできていないできている。 を考達し点できている。 を対します。 を対しまする。 できている。 を対しまする。 できている。 を対しまする。 できている。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもない。 でもでいる。 ではいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 でもでいる。 ではいるでは、 ではいるでは、 ではいるでは、 ではいるでは、 ではいるでは、 ではいるでは、 ではなでは、 ではなではないるではなではないるではなではないるではなではないるではなではないるではなではななではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではな	に況にある。被回を は は は は は は は	れている。マスティンスの大きな中では、大きないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、ま	携わるおいておおり、 しておかり、 しておかり、 してがきをできながらないでは、 との世代となってなった。 と現況値の差)と	○②事前で <想定どお □①市が発 □②市促作する。 □③・でのである。 □⑤・サートである。 ○○・でもののでする。 ○○・でもののでする。 ○○・でものできる。 ○○・でものできる。 ・でをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	権認でした理明の たまに りょう に	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でがたいた。 施策の市民の場合では、 ・市民団体等でがたいた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因> は実施できなかっ 苦みが一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容) ②①目標標値達成 で ○○②目標を達成し の ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	た	か具体的な内容・参加・協 期期待したとより の期待も以とより ではなかった はどおりでなかった はとなった原因> 本 なとなった原因>	・必要性の理由 ・必要性の理由 ・例の程度・内 ・関係の配慮 ・た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	容であった原因ン	○ 要要 ○ ○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	戦後75年を迎える次はかかい。 *** 戦後9のくにくあかいがかい。 *** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ **	世、必る P で体 お 導施ス接図	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 で にと b b p b f k で い べとこるよ り 内 りりり し 点 なりよ 策 容 る まり ま 策 る る り (%) [■ [[[[[[[[[[[[[[[[[の争が考遣視。 できていな 学校 できた	に況にある。被回を は は は は は は は	れている。アキュースの大学生・高校生の大学生・高校会の大学生・高校会のででは、「大学生・高校会」では、「大学生・高校会」では、「大学をは、いきないない。」は、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、いきない、」」は、「大学をは、「大学をは、「大学をは、「大学をは、いきないないない。」は、「大学をは、「大学をは、「大学をは、いきないない。」は、「大学をは、いきないない。」は、「大学をは、いきないない。」は、「ないましい。」は、「ないましい。」は、「ないましい。」は、「ないましい。」は、「ないましい。」は、「ないまいましい。」は、「ないまいましい。」は、「ないまいましい。」は、「ないまいまいまいまいましい。」は、「ないまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいま	携わるおいておおり、 しておかり、 しておかり、 してがきをできながらないでは、 との世代となってなった。 と現況値の差)と	○②事前で ○②事前で ○②事前で ○②事前では ○②事が進っ ○③事がと ○○の事がと	権記 で し た で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団集守でがたことには、市民団集守でがたことには、 たまながでは、 たまな基盤がでは、 たまな基盤がでは、 たまな場合には、 はまな事では、 はまなまな事では、 はまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまな	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	か具体的な内容・参加・協 期期待したとより の期待も以とより ではなかった はどおりでなかった はとなった原因> 本 なとなった原因>	必要性の理由 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因ン について かった	○	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	戦後75年を迎える次はかかい。 *** 戦後9のくにくあかいがかい。 *** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ **	世、必る P 市が市が進場にある。 P 市が市が進場にごる から B 民民民活業 でいい献 標値 (b) 前別円 では、	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 で にと b b p b f k で い べとこるよ り 内 りりり し 点 なりよ 策 容 る まり ま 策 る る り (%) [■ [[[[[[[[[[[[[[[[[分争が考さにない。 ないは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないできていないできている。 ないないできている。 ないないできている。 ないないできている。 ないないできないが、できないできないが、できないできないが、できないが、できないが、でいる。 などというなどでは、ないのでは、は、ないのでは、ない	に況にある。被回を は は は は は は は	れている。マスティンスの大きな中では、大きないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、ま	携わるおいておおり、 しておかり、 しておかり、 してがきをできながらないでは、 との世代となってなった。 と現況値の差)と	○②事前で	権記 で し た で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団集守でがたことには、市民団集守でがたことには、 たまながでは、 たまな基盤がでは、 たまな基盤がでは、 たまな場合には、 はまな事では、 はまなまな事では、 はまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまな	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	の具体的な内容・ 参加・協 期期待した以上 したた以上 したとなった 環 だ ど おりでなかった い なとなった の ① 事 前 の の ② 事 が を の の ② 事 の を の の の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の を の の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の の を の の の の を の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	必要性の理由 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因ン について かった	○要要 ○不要 ○不要要 ○不要要 ○不要要 ○不要要	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	戦後75年を迎える次はかいくかのでは、100 対策を生きのでは、100 対策をでは、100 本業費債(a) (96) 事業費(c) (千円) 6,596 事業費債	世、必る P で体 お 導施ス接図	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 で にと b b p b f k で い べとこるよ り 内 りりりし 点 で にと b b で にと b b で い い ら c で にと b b で い い ら c で にと b b で い い ら c で にと b b で い い ら c で に c b b c で い い ら c で に c b b c で い い ら c で に c b b c で い い ら c で に c b b c で い い ら c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c で に c b b c c b c c b c c b c c c b c	の争が考遣視。 できていな 学校 できた	に況にある。被回を は は は は は は は	れている。マスティンスの大きな中では、大きないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなないでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないが、はないが、大きないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、まないが、ま	携わるおいておおり、 しておかり、 しておかり、 してがきをできながらないでは、 との世代となってなった。 と現況値の差)と	○②事前で ○②事前で ○②事前で ○②事前では ○②事が進っ ○③事がと ○○の事がと	権記 で し た で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団集守でがたことには、市民団集守でがたことには、 たまながでは、 たまな基盤がでは、 たまな基盤がでは、 たまな場合には、 はまな事では、 はまなまな事では、 はまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまなまな	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	の具体的な内容・ 参加・協 期期待した以上 したた以上 したとなった 環 だ ど おりでなかった い なとなった の ① 事 前 の の ② 事 が を の の ② 事 の を の の の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の を の の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の の を の の の の を の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	必要性の理由 動の程度・内 理由 / 期待以下 養への配慮 た 原因 >	容 であった原因ン について かった	○	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に	戦後75年を迎える次は や戦かのくだしな要というがあい。 「理由」 日間	世、必る P 市が市 が進規図 市市市な事 東	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 (d) ではだ る実り (e) 蔵 (d) [[(e) を) (d) (d) [[(e) を) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e	の争が考さになないくとない。 かきをできている。 をおきでは、できている。 をおきできている。 をおきできない。 をおきできない。 できている。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 できている。 でもでいる。 でもでは、のののでは、のののでは、のでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、の	に決している。被人を実施を与うな。 は、とと実業を全くをの他の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内内の内	れている。 では、	施世代学生が にを含む市民会議を を世代学生が にできます。 にできまする。 にできまなる。 にできまなる。 にできまなる。 にできまなる。 にできまなる。 にできな。 にできなな。 にできなな。 にできなな。 にできなな。 にでなる。 にでをなる。 にでをなる。 にでをな	○②事前 (できない) (を を を と と と に に の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の の た の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった。 本ではおりでなかった。 本では、市民団集体等でがたことでは、市民団集体では、 本では、市民団集での目に、 を集まれたが確保された。 を集まれたが確保された。 を表も場合には、 は、大の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	たでなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなきなかってきなかってきなかってきなかってきなかってきなかっています。 現にてきなかってきなかってきなかっています。 はなきないできなかってきなかっています。 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないでは、「本事をできない。」 「マースは「本事をできない。」 「マースは、「本事をできない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マ	た (市実施の	の具体的な内容・ 参加・協 期期待した以上 したた以上 したとなった 環 だ ど おりでなかった い なとなった の ① 事 前 の の ② 事 が を の の ② 事 の を の の の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の を の の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の を の の の の を の の の の を の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 の程度・内の配慮 た 下因 を表定とど できた。 では、できた。 のでは、できた。 のでは、できた。 では、できた。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を であった原因ン について かった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	戦後75年を迎える次は や戦かのくだしな要というがあい。 「理由」 日間	世、必る P で体 の 導施 ス 接図 で	平島ま 団るい ぺとこるより 内 有有携し 視 いる (v) 成	分争が発えない。 かきを表遣したできない。 ないなどは、ないないなどのできる。 ないなどのできる。 ないなどのできない。 ないなどのできない。 ないなどのできない。 ないなどのできなのののできる。 ないのできる。	に況にある。被回を は は は は は は は	れている。マスティンスを関する。「ないないないでは、大の内容を関する。「ないないでは、大の大きを生まれて、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では	携伝できな市民会議を を担け、 (表表の)	○②事前で ○②事前で ○②事前で ○②事前では ○②事が進っ ○③事がと ○○の事がと	を を を と と と と と と と と と で 役 た が な を な 後 と し の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった。 The image is a second of the imag	た でなかった原因〉 は実施った 原因〉 はなきなかった 原因〉 はなきなかった 層 現 にたれた マスは今容) は 1 日 標 権値 成 成 達 上 の ② 想 標 を 定 税 事 想 事 業 定 費 値 以 上 の ③ 想 で ま 変 変 で で で で で で で で で で かっか が ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	た (市実施の	か具体的な内容・参加・協 参加・協 期期待したとり にたたりの に以上となった 環かった をどおりでなかった原 事前前 でなかった原 事前ののの りでなった。 本なったを 事がののののの。 はととなった。 本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・必要性の理由 の程度・内の配慮 た 下因 を表定とど できた。 では、できた。 のでは、できた。 のでは、できた。 では、できた。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を であった原因ン について かった た原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて (体制であるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (4)関係を表現する為には関係が会別では、対象には関係が会別である。	戦後75年を迎える次は や戦争のくにしていか。 「等主他 ではいく を 2 を 1 を 2 を 2 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	世、必る P で体 の 導施 ス 接図 で	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 (d) ではだ る実り (e) 蔵 (d) [[(e) を) (d) (d) [[(e) を) (d) (d) (d) (d) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e	の争が考さになないくとない。 かきをできている。 をおきでは、できている。 をおきできている。 をおきできない。 をおきできない。 できている。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 をおり、。 できている。 でもでいる。 でもでは、のののでは、のののでは、のでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、の	で記されています。 では、	れている。マスティンスを関する。「ないないないでは、大の内容を関する。「ないないでは、大の大きを生まれて、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では	携伝できな市民会議を を担け、 (表表の)	○②事前 (できない) (を を を と と と と と と と と と で 役 た が な を な 後 と し の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でが、 市ればとの目たのでは、 市内では、 ・ 市のでは、 ・ できる。 ・で	たでなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなきなかってきなかってきなかってきなかってきなかってきなかっています。 現にてきなかってきなかってきなかっています。 はなきないできなかってきなかっています。 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないでは、「本事をできない。」 「マースは「本事をできない。」 「マースは、「本事をできない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マ	た (市実施の	か具体的な内容・参加・協 参加・協 期期待したとり にたたりの に以上となった 環かった をどおりでなかった原 事前前 でなかった原 事前ののの りでなった。 本なったを 事がののののの。 はととなった。 本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・必要性の理由 の程度・内の配慮 た 下因 を表定とど できた。 では、できた。 のでは、できた。 のでは、できた。 では、できた。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を であった原因ン について かった た原因>	O 要要要 O O 不要要 O O 不要要要 O O O 要要不要要要 O O O 要要不要要要 O O O 更更不要要要	
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	戦後75年を迎える次はからいくちかいにいます。 「中国 は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	世、必る P で体 お	平島ま 団るい ぺとこるより 内 有有携し 視 いる (v) 成	の争が考遣視・	で記されています。 では、	れている。マスティンスを関する。「ないないないでは、大の内容を関する。「ないないでは、大の大きを生まれて、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では	携伝できな市民会議を 施世大学生の に世大学生の に世大学生の を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたという。 を関係していたという。 を関係している。	○②事前 (できない) (を を を と と と と と と と と と で 役 た が な を な 後 と し の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でが、 市ればとの目たのでは、 市内では、 ・ 市のでは、 ・ できる。 ・で	たでなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなぎなかった原因〉 はなきなかってきなかってきなかってきなかってきなかってきなかっています。 現にてきなかってきなかってきなかっています。 はなきないできなかってきなかっています。 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないできなかっています。」 「マースは今後、はないでは、「本事をできない。」 「マースは「本事をできない。」 「マースは、「本事をできない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マースは、「本まない。」 「マ	た (市実施の	か具体的な内容・参加・協 参加・協 期期待したとり にたたりの に以上となった 環かった をどおりでなかった原 事前前 でなかった原 事前ののの りでなった。 本なったを 事がののののの。 はととなった。 本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・必要性の理由 の程度・内の配慮 た 下因 を表定とど できた。 では、できた。 のでは、できた。 のでは、できた。 では、できた。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を であった原因ン について かった た原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費に通正か? (4)事業費用	戦後75年を迎える次はからいくちかいにいます。 「中国 は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	世、必る P で体 お	平島ま 団るい べとこるよ 助 有有有携 で にと b b b f f f f f f f f f f f f f f f f	の争が考遣視・	で記されています。 では、	れている。マスティンの内容では、では、大の人のでは、では、大の人のでは、では、大の人のでは、では、大の人のでは、では、大の人のでは、では、大の人のでは、では、大の人のでは、大の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	携伝できな市民会議を 施世大学生の に世大学生の に世大学生の を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたとなった。 を関係していたという。 を関係していたという。 を関係している。	○②事前 (できない) (を を を と と と と と と と と と で 役 た が な を な 後 と し の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 市民団体等でが、 市ればとの目たのでは、 市内では、 ・ 市のでは、 ・ できる。 ・で	た でなかった原因 > はな	た (市実施の	か具体的な内容・参加・協 参加・協 期期待したとり にたたりの に以上となった 環かった をどおりでなかった原 事前前 でなかった原 事前ののの りでなった。 本なったを 事がののののの。 はととなった。 本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・必要性の理由 の程度・内の配慮 た 下因 を表定とど できた。 では、できた。 のでは、できた。 のでは、できた。 では、できた。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	を であった原因ン について かった た原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

表式第3号 						子初于	未可叫	ארנו / אב	2年度)								
事業コード	9		İ	課コード		0201		会計種別	一般会計				予算(の種類 ■	■政策	■経常	□なし
1. 事業の概要(PLA)																
		基本事業							実施計画への	o T	0. +			@ +n=== #2	A == 0.00 = 0.00	^ T-	
	①事業名	個別事業	常磐線の利	l便性向上					位置づけ		O ₹	●無		②部課名	企画財政部	・企画課	
		③事業主体 O市 ●その他 (松戸市・柏市・我孫子市・取手市 (5)事業期間 平成31年度 ~							④対象地区⑥担当職員数		□我孫子	口天王台	□湖北 4 人	□新木 □ (換算人数	□布佐	●全市 0.47 人)	
(1)事業概要	⑦事業費			一										392 千円 (うち人件費 4,089 千円			
	(人件費含む)	総事業費			0 千円				当該(開始)年	[(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
	8施策の位置づ	ナ 施策 コード		63401		重点プロジェクト への位置づけ		重点 4	基本計画地区計画への位置		●有	i 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
	施策目的・	市民が快適に				できるよう、重要な			増	#				な移動ができるよう	 、重要な公共	交通機関である。	JR常磐線の
(2)目的	展開方向					車の削減ダイヤの復 鉄道の輸送力の強			海 事業目的	迫	送力の強化と利	便性の向上を図	1 る。				
			道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。								・令和2年7月 R東日本に対す			進協議会、千葉県 J	R線複線化等	促進期成同盟なる	どにおいて、
						寺急「踊り子号」の JR東京支社長との			く 当該年度 執行計画					どの沿線自治体と J ド「あびこ市民の歌			行う。
(3)事業内容	内 容				沿線自治体とJR東京支社長との意見交換を行う。 孫子駅の発車メロディを「あびこ市民の歌」「河童音頭」に変更す									った「あびこ市民の歌」「河童音頭」に変更する。			
											JR東日本への	働きかけ回数			単位	想定值	
/A) '去라口!!! /#\				***	3 4표 / #B 4t - ナフ - 라	m\			活動結果指	標			H: 4m		単位	実績値	(6) 日播法
(4)達成目標(期待する成果) 当該年度	通勤・通学者の	可便性向上を図	る。	達成日	目標(期待する成	未)			指標種類直接	要	要望事業数	:	指標		項目		(6)目標値
	通勤・通学者の	列便性向上が図	られている	·) o					直接	要	要望実績率 (要	望事業数/要望	②予定事業数)		%		10
令和 4年度	通勤・通学者の	対便性向上が図	られている						直接	要	要望実績率(要	望事業数/要望	2予定事業数)		%		10
Σήτι ττ/χ									直按	-							
(7)事業実施上の課題と対応									代替案検討	†	O有	●無					
		平成31年	度	_			令和 2年度				令和	3年度	1		令和	14年度	
	策	内 容		金額(千円)	東	内 容	7		I額(千円) 政 策		内 容		金額(千円	策 :	内 容		金額(千円)
	→ JR東日本へ * 天王台駅施設				34 * 発車メロ	本への働きかけディ制作委託料		0 220	音	楽著作権				50 音楽著作権			5
					* 音楽著作 * 発車メロ	:権料 ディ変更負担金		50 1, 000	草	刈委託料	料(柴崎台1丁	目19番7)		33 草刈委託料	(柴崎台1丁	19番7)	3
						草刈委託料(柴崎台1丁目19番7) 33											
実施内3	,																
(8) 恢行車項																	
費																	
予算(決算	宛	合 計		2. 484	24	合 計		1, 303			合 計			83	合 計		8:
国庫支出	金補助率	0 % 0 %		, (0 補助率 0 補助率	補助率		0	補助		н н	0 %		0 補助率 0 補助率	н п	0 % 0 %	
(0) 財源内部 起債	充当率	0% 0 2,484 受益 口基金 口その他 0			0 充当率	充当率 0 % 0 1,303 □特会 □受益 □基金 □その他 0			補助率 充当率		0 % 0 %			0 充当率 0 %			
その他の	源 □特会 □号				0 □特会						□受益 □基金	□その他		83 0 □特会 □受益 □基金 □その他			
換算人数 正職員人	費	0. 42 3, 696						0. 47 4, 089					0 3, 4	4 80			0. 4 3, 480
鳴託 職員 和 臨時 職員 賃	金額			(0			0						0			(
事業費(予算(決算)額+正職員	、件費)			6, 180	30			5. 392					3. 5	63			3, 563
(11) 単位費用		2 060 工 田	/EI			1 707 22 =	£ III / III	5, 592						100			
(事業費/活動結果指標		2,060千円	/0			1, 797. 33 T	千円/回	0, 092					5, 0				
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+		2,060千円	/0	*		1, 797. 33 1	千円/回	3, 392			± // ==						71.**14.5
(事業費/活動結果指標	HECK)				前評価				○①事前確認での	想定どお		価(評価結果に		家検討(拡充も含む	3))		改善検討
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価 (D0+ 評価項目	HECK) 常磐線特別快速I み停車していなI	は速達サービス: い。また、常磐	を主眼に運 線は上野東	が 近行されており、 近京ラインに直通	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年に	D19駅のうち、我孫 こは乗り入れ本数も	系子駅・天王台駅 - 拡大されたが、	Rを含む4駅の 品川以南の東	○①事前確認での ○②事前確認での		おり				3))		
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+	### ### ### ### ### ### ### #########	は速達サービス い。また、常磐 直通運転は実現 り強く要望活動:	を主眼に運 線は上野東 していない を続けてい	でであれており、 で京ラインに直通い。これらの課題 いく必要がある。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 夏を解決し、常朝 さらに、市制等	の19駅のうち、我孫 こは乗り入れ本数も 路線利用者の利便性 5 0 周年事業として	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 Dには、JR東		想定どお	おり おりでなかった				;;))		改善検診 〇要 〇不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である	HECK) 常磐線特別快速 み停車していない 海道線との相互 日本に対し、粘 域特有のメロデ	は速達サービス: ハ。また、常磐4 直通運転は実現 り強く要望活動: パに変更すること	を主眼に運 線は上野東 していない を続けて とで、 我孫	ででいており、 でではないでは でいるでは、 でい。 でいるでは、 でしるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 通を解決し、常勢 さらに、市制! 対して、さらに変	の19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 盤線利用者の利便性 50周年事業として 愛着を持ってもらう	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での? 「想定どおりとした	想定どお	おり おりでなかった を想定どおりでな	なかった原因>	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		4>	〇要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必	常磐線特別快速	は速達サービス。 い。また、常磐 直通運転は実現 引強く要するこ。 NPO、市民団 等で市が実施す	を主眼に運東 線は上野東 していけて を続け、 きとで、 では ほ ることが定	でされており、 でラインに直通い。これらの課題いく必要がある。 後子駅や鉄道に対 実施できない	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 夏を解決し、常朝 さらに、市制等	の19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 盤線利用者の利便性 50周年事業として 愛着を持ってもらう	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 Iメロディを地 <	○②事前確認での 「想定どおりとした □①民間企業、N □②市が主導で進	想定どま =理由/ PO、it めなけれ	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では れば実効性がな	なかった原因> 実施できなかっ かった	−応じ、改善署			3>	〇要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 必	### ### ### ### ### ### #### #### ###	は速達サービス: ない。また、常磐 直通連をはま第現 対強く要更するこ。 ハPO、市民団 デで下が実施すなに なが市した。	を主眼に運東 線は上野東 していけて を続け、 きとで、 では ほ ることが定	でされており、 でラインに直通い。これらの課題いく必要がある。 後子駅や鉄道に対 実施できない	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 通を解決し、常勢 さらに、市制! 対して、さらに変	の19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 盤線利用者の利便性 50周年事業として 愛着を持ってもらう	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 Lメロディを地 <	○②事前確認での 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が主導で進 □③市が先導役と 促進された	想定どま と理由/ PO、it かなったこ	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では にば実効性がな ことで市民へ普	まかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		3>	O要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必	常磐線特別快速 水停車していねに 海道線と対し、対域特有のメロデ ●①民間企業、 (理由) □ 提供・ □ その付 はないる。	は速達サービス; ハ。また、常磐線 対強く要望活动 対強く要望含るこ。 NPO、実施するこ。 ドで市が実施する。 ドにが市しかない を体が市しかない る市が推進すべ	を主眼に運東に運東といい、 をとで、我ははないない、 はないないない。 をとがはない。 はないである。	経行されており、 ででは、 ででは、 ででは、 では、 では、 できない。 できない。 できない。 とめられている	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 通を解決し、常制 さらて、さらに	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 路線利用者の利便性 50周年事業として 受着を持ってもらう 内容>	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 Iメロディを地 <	○②事前確認での 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が主導役と 促進された ②・御市の支援が改 □③サービス水準	想 定 B P めな 策が能保 が で	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では が性がな ことで市民へ 策の目標の実現 された	まかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		1>	○要 ○不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 必 要 性 (2)市が実施する必要性	常磐線特別快速なみ停車していなします。 常磐線特別快速なみ停車していれ互目本に対し、私域特有のメロデ: ●①民間企業、(理由) □法令・ ■提供: □その付 は ○②自治体である。 (理由) □市が3	は速達サービス等は、い。またはは発見のでは、はなっていましたははいます。 は一直のでは、大きないでは、ないでは、はないでは、はいでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないではないではないでは、はないではないではないでは、はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	を主眼に運乗ない 線して続け、我 は定 とで、はなことでよい がでよい。 なりより	経行されており、 ででは、 ででは、 ででは、 では、 では、 できない。 できない。 できない。 とめられている	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 路線利用者の利便性 50周年事業として 受着を持ってもらう 内容>	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が主導で進 ・ 保進された □④市の支援が政 □⑤サービスの安: □⑥サービスの安: □⑦その他	想 定 B P めな 策が能保 が で	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では が性がな ことで市民へ 策の目標の実現 された	まかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		3>	 ○不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 必 要 性 (2)市が実施する必要性 あるか?	常磐線特別快速 赤停車していれない 海道線と対し、カデ 海道線と対し、カデ 域特有のメンデ ●①民間企業、(理由) □法会・(理由) □は、会・(理由) □は、会・(理由) □ボー・が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は速達サービス等 は連達サービス等 直通強く要更、市民には は一般で変更、市民に である。 である。 は、 は、 は、 は、 は、 である。 である。 は、 は、 である。 は、 は、 である。 である。 である。 である。 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を主眼に運東に運東に運東ないなく。 は定ととと 間体をと でがめる りょり	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 路線利用者の利便性 50周年事業として 受着を持ってもらう 内容>	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、№ □②市が生導役と 促進された □④・サービスの安: □⑥サービスの安:	想 定 B P めな 策が能保 が で	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では が性がな ことで市民へ 策の目標の実現 された	まかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		3>	○要 ○不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 必 要 性 (2)市が実施する必要性 あるか?	常磐線特別快速 赤停車していれない 海道線と対し、カデ 海道線と対し、カデ 域特有のメンデ ●①民間企業、(理由) □法会・(理由) □は、会・(理由) □は、会・(理由) □ボー・が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は速達サービス は速達サービス は速達サービス は は は は は は は は は は は は を 要 り で り で り で り で り で た が 市 が ま た は は 望 る で う 、 ち た ま り う で う 、 ち た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	を主眼に運東に運東に運東ないなく。 は定ととと 間体をと でがめる りょり	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も 路線利用者の利便性 50周年事業として 受着を持ってもらう 内容>	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が主導でと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 Pめな 策が定 Pのなつ ・確供給 が定	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では は実効性がな まの目標の実現 きれた 基盤が確保され	なかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た	−応じ、改善署	案検討(拡充も含む		1>	○要 ○不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 必 要 性 (2)市が実施する必要性 あるか?	### ### ### ### ### ### #### #### ###	は速達サービス等現かに は速速 サービス等現 から 直通 全 変更 、 市 に を で が 市 に と で が 市 が 進 性 め 供 に こ と 準 に が は と で と 保 に な で こ る に で と 保 に な け な ら か と し を か が 他 の ら の か も 像 か い も な い も な い も な い も な も な い も な も な い も な も な	を主眼に軍事には乗りている。 できにといる はいかい できにといる ない でいまい 策 はっている いいきにといる かいき はいかい かい	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため ご我孫子駅の発車	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での ② 想定どおりとした ② ① 民間企業、N ② ② 市が先導導と、促進された ② ③ 守・びとスパケッツ・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団体等では が性がな ことで市民へ 策の目標の実現 された	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	たじ、改善乳のた <市実施	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協			○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 が 要性 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性)	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	は速達サービス等は速すービス等級では、高速を対して、 大は望す 市 大は望す 市実し 大きには望す 市 大は望す 市 大は望す 市 大は望す 市 大き で 大き	を主眼に運車いとない。 できにとない ない いっぱい ない はっぱい ない はっぱい ない ない はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱ	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での ② 想定どおりとした ② ① 民間企業、N ② ② 市が先導導と、促進された ② ③ 守・びとスパケッツ・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善到 のた <市実施 の①当当 の②当	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ をの具体的な内容・ 初期待したとより	必要性の理由		○要 ○不要
(事業費/活動結果指標 2.事業の評価(DO+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 佐 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性)	常磐線特別快速は ・	は速達サービス等 は速達サービス等 は速さを変更、大家しし 大家としたがあった。 は強く変更、大家しいがあった。 大家には望する 民族かか するまでは、 大家にがあった。 では、大家には、 大家にがあった。 では、大家には、 でいる。 、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	を主はて続けて、 でとこと は	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での ② 想定どおりとした ② ① 民間企業、N ② ② 市が先導導と、促進された ② ③ 守・びとスパケッツ・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット・グラット	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた <市実加 の(2)当 の(3)当	を検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協 初期待した以上 初期特したとおり 初の期待し下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ 不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との エ夫しているか? (体制づくり)	### ### ### ### #####################	は速達サービス等現動に にったい 直強を かった はい、直強く変 アードスは望する 民族の アーボル 推め供証 こる おり で・提供証 こる かった 地域 るすさと で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を主はて続けて、 でとこと は	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が生導視と ・促進された ・優高の支援スが改進。 ・個・市の支援スが改進 ・日の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた <市実加 の(2)当 の(3)当	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ をの具体的な内容・ 初期待したとより	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
(事業費/活動結果指標 2.事業の評価(DO+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 佐 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速達サービス等は、 は速達サービス等には、 は、 は	を主はて続けて、 でとこと は	型行されており、 でできれている でできない。 実施できない。 とめられている を対している を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。	前 評 価 品川〜土浦間の 通し、平成29年1 項を解決し、常駅 さらに、たらにする くその他の	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 iメロディを地 <	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が生導視と ・促進された ・優高の支援スが改進。 ・個・市の支援スが改進 ・日の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた <市実加 の(2)当 の(3)当	を検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協 初期待した以上 初期特したとおり 初の期待し下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ 不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との エ夫しているか? (体制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速達学サービス等とは、上では、一では、一では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	を主はていけて、 等と はない はましていけて、 等と はない はましていけて、 等と でよに 政 内 りょうりょう いいいきとこと り の すりりりして てい こう ない る。 る。 る。	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を決し、市 ら の 他 の く そ の 他 の る た	の19駅のうち、表孫 には乗り入れ本数も 皆線利用者の利便事業として うの周年事まとして 愛着を持ってもらう 内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業、N □②市が生導視と ・促進された ・優高の支援スが改進。 ・個・市の支援スが改進 ・日の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 Pめな 策が定 Pのなっ ・確供 協 のなっ ・確供 協 ののなっ ・確性 ののなっ ・ででする。 ののなっ ・ででする。 のののののでである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 ののののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 のののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 ののののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のののである。 のので。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 のので。 のので。 ののである。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 のので。 のので。 の。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 のので。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので。 。 。 のので	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた <市実加 の(2)当 の(3)当	を検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協 初期待した以上 初期特したとおり 初の期待し下	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ 要 ○ 不要
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との エ夫しているか? (体制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	は速達サービス等現動・ にない は、	を主はしています。 を主はしています。 をとしています。 でもいています。 でもいでは、 これでは、 これ	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を決し、市 ら の 他 の く そ の 他 の る た	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も は無り入れ本数も 日本の利便としら うの周年事でもらう 一次容〉 「内容〉 「内容〉	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 生が向上するため て我孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。N □②市が生導導と、促進されたが改進の表別である。 □③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 理 理 Do の いけた 施保給 働 の ら い た の た ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おり おりでなかった 想定どおりでな 市民団実 ででな 特性が の目標の まさ も は と と と と と と と と と と と と と と と と と と	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	で応じ、改善等 のた	案検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協 初期待したととおり 初期特したととおり 初の期待以となった理 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	必要性の理由	容	○要 ○不要 ○ ○ 要 ○ 不要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) (本制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達サービックでは、 は速速を乗り、 は速さを乗り、 は望する には望す 、実し ・変を ・変をを ・変をををををををををを	を主はしています。 を主はしています。 をとしています。 でもいています。 でもいでは、 これでは、 これ	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を改り、市らい、 さい できる の 他の かった	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も は無り入れ本数も 日本の利便としら うの周年事でもらう 一次容〉 「内容〉 「内容〉	系子駅・天王台駅 地大されたが、 性が向上するため で表孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。N □②市が生導導と、促進されたが改進の表別である。 □③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 理 理 Do の いけた 施保給 働 の ら い た の た ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おりでなかったが、 想定どおりでなかったが、 ままれば、 まされば、 まさればいがはがいがは、 まさればいがは、 まさればいがは、 まさればいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがは	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ をの具体的な内容・ 初期待したとおり 初期特けたと下 した以上となった理	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下	容	○要 ○不要 ○ ○ 要 ○ 不要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) (本制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速達な上では、	を主はています。 きとにとり 内の りりりし せ事見点 はか るりまり の りりりし ていまた か な る の る の の の の の の の の の の の の の の の の	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を改り、市らい、 さい できる の 他の かった	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も は無り入れ本数も 日本の利便としら うの周年事でもらう 一次容〉 「内容〉 「内容〉	系子駅・天王台駅 地大されたが、 性が向上するため で表孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。N □②市が生導導と、促進されたが改進の表別である。 □③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 理 理 Do の いけた 施保給 働 の ら い た の た ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おりでなかったが、 想定どおりでなかったが、 ままれば、 まされば、 まさればいがはがいがは、 まさればいがは、 まさればいがは、 まさればいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがは	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協初期待したとより初初期期待した以上の対した以下した以上となった理理となった理理という。	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ● ○ 要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) (本制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速達を は速達す は速達す には望す には望す にににいかで を にににいかで を はで、 では、 を では、 を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を主はています。 きとにとり 内の りりりし せ事見点 はか るりまり の りりりし ていまた か な る の る の の の の の の の の の の の の の の の の	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を改り、市らい、 さい できる の 他の かった	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も は無り入れ本数も 日本の利便としら うの周年事でもらう 一次容〉 「内容〉 「内容〉	系子駅・天王台駅 地大されたが、 性が向上するため で表孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。N □②市が生導導と、促進されたが改進の表別である。 □③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 理 理 Do の いけた 施保給 働 の ら い た の た ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おりでなかったが、 想定どおりでなかったが、 ままれば、 まされば、 まさればいがはがいがは、 まさればいがは、 まさればいがは、 まさればいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがは	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協 初期待したととおり 初初の期待ととなった理 定定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下 竟への配慮	容	● ○ ○ 要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 (2)市が実施する必要性 がある実施の必要性) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速達を は速達す は速達す には望す には望す にににいかで を にににいかで を はで、 では、 を では、 を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を主はています。 きとにとり 内の りりりし せ事見点 はか るりまり の りりりし ていまた か な る の る の の の の の の の の の の の の の の の の	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 品川〜土浦間の 通道を改り、市らい、 さい できる の 他の かった	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も は無り入れ本数も 日本の利便としら うの周年事でもらう 一次容〉 「内容〉 「内容〉	系子駅・天王台駅 地大されたが、 性が向上するため で表孫子駅の発車 う。	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。N □②市が生導導と、促進されたが改進の表別である。 □③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	想 理 理 Do の いけた 施保給 働 の ら い た の た ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おりでなかったが、 想定どおりでなかったが、 ままれば、 まされば、 まさればいがはがいがは、 まさればいがは、 まさればいがは、 まさればいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがは、 まさればいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがはがいがは	なかった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 に 責献した た	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協 初期待したととおり 初初の期待ととなった理 定定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ● ○ 要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) (本制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達ない。 はない は、	を主はて続て、等とは、	を行されている。 経行されていた。 にないないできない。 を必要がある。 実施られている。 をおいる。 をなな。 をないる。 をなな。 をなな。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をななる。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな	前 評 価 品川〜土浦間の 通りを 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1	D19駅のうち、我孫 には乗り入れ本数も性 の人の利用者事を の 同年事ってもらう 内容 >	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 はが向上するため で我孫子駅の発車 から、	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 メロディを地	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。 N 進 次 進 次 道 次 で 後 次 道 次 で 後 次 道 次 で 後 の で の で の で の で の で の で を か か ・ 協 動 か ・ を か ・ は か	想 理 POなっ、確保給 Mのと ・ が定 ・ が考 し し た り た り た り た り し し し し し し し し し し	おりでなかったが、 想定どおりでなかったが、 ままれば、 まされば、 まさればいがは、 まさればいがは、 まさればいがはがいがは、 まさればいまがは、 まさればいまさればいは、 まさればいまがは、 まさればいはいまさればいはいまないは、 まさればいままないはま	なかった原因> 実施できなかった 及がった 居 に 責献した た (又は今後、 その内容)	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協 初期待したととおり 初初の期待ととなった理 定定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下 竟への配慮	容	○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ○ 要 ○ 不 ● ○ 要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 が実施する必要性 (2)市が実施する必要性 (2)市る実施の必要性 がった。 (本制づくり) 環境(に配慮して事業を いるか?	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達せい、直強は、下では、大きない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を終しをと 団体るい きとにと り 内 リリリし せ事見 る 項目目 田野なて我 (すな) およに 政 内 いいを点 ない なまに 政 内 い いを点 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 評 価 品川〜工浦間の 品面を 対	D19駅のうち、我孫生 には乗り月名の乗りまれ本教も 85の周年事ってもらう の一個年事でもらう 内容〉 工夫の具体 な我孫子駅発車メロ	系子駅・天王台駅 ・技術大きないたが、 はが向上するため で我孫子駅の発車 がの がの 体的な内容 ですて変更の要望 む内容	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 Iメロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業。 N 進 次 進 次 道 次 で 後 次 道 次 で 後 次 道 次 で 後 の で の で の で の で の で の で を か か ・ 協 動 か ・ を か ・ は か	想 理 P D めな 策 が定	おり おりでなかった が 想定 どおりでなかった が すれば と と おりでなかりで かった が 作れば と 実	なかった原因> 実施できなかったのかった 層 はた た (又は今後、その内容)	に応じ、改善3 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協 初期待したととおり 初初の期待ととなった理 定定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内 里由/期待以下 竟への配慮	容	○
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2)市が実施する必要性 あるか? (市実施の必要性) (本制づくり)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達せい、直強は、下では、大きない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を建したと は ない きにこるよ の りりりし ていまん でまた 政 容 いっちょに 政 容 いっちょに 政 ない いっちょい からまい でありまい 策 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	型(行されて) は ですった。 ですた。 です。 ですった。 ですった。 ですった。 ですた。 ですた。 ですた。 ですった。 ですった。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。	前 評 価	の19駅のうち、我孫子盤検付のチェッッの受設にはない。 「本孫子駅発車 取組を重要のできたい。」 「お孫子子の異体のチェッッのできたい。」 「お孫子子の異体のチェッッのではない。」 「おんだいい。」 「おんだいい。」 「おんだいい。」 「おんだいい。」	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 はが向上するため で我孫子駅の発車 つう。 体的な内容	では、	○②事前確認での: 想定どおりとした □①民間企業で発して、 □②市が生導体になるでで、 「のまで、の地で、 「のまで、 「の	想 理 P D めな 策 が定	おり おりでなかったが 想定どおりでなかりでは なかりではないでは な等性民実で市標の目標。 ではないでは ないではないでは ないではないでは ないではないでは、 ないではないでは、 とは、 とは、 とは、 ないでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	なかった原因> 実施できなかった かった のできなかった を に貢献した た (又は今後、 その内容)	に応じ、改善等 のた	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協 初期待したととおり 初初の期待ととなった理 定定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内 理由/期待以下 竟への配慮 た	容	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 が実施する必要性 (2)市が実施する必要性 (2)市る実施の必要性 がった。 (本制づくり) 環境(に配慮して事業を いるか?	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達生 生存識減に という は 動画画連施 いこの るとにににいめで と と は 動画画連施 いしてて貢献 にににいめで ・ と は 生 かししてて貢献 にににいめで ・ と は 生 かしして、	を終しをと 付るい きとにと り 内 りりりし せ事見 る 項目 日	型(行されて) は ですった。 ですた。 です。 ですった。 ですった。 ですった。 ですた。 ですた。 ですた。 ですった。 ですった。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。 です。 です。 でする。 でする。	前 評 価 間	の19駅のうち、我務も性があり、 はないのでは、比較のでは、比較のでは、比較のでは、比較のでは、 ののでは、 ののでは、 ののではないでは、 ののではないです。 ののではないです。 ののではないです。 ののではないでする。 ののではないです。 ののではないでする。 ののではないでは、 ののではないではないでは、 ののではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	系子駅・天王台駅 も拡大されたが、 はが向上するため で我孫子駅の発車 つう。 体的な内容	では、	○②事前確認での: 想定どおりとした ②電子のでは、 N 進 での: ②では、 N 進 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	想 理 理 Do の い け た 施 た が 定 ・ が た 、 が た 、 ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おり おりでなかったが 想定どおりでなかりでは なかりではないでは な等性民実で市標の目標。 ではないでは ないではないでは ないではないでは ないではないでは、 ないではないでは、 とは、 とは、 とは、 ないでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	なかった原因> 実施できなかった 実施った アッカス アッカス	で に 、 改善	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以上にしたという。 が別期待したと下のに理 で定とがよりでなかった原 となった原因〉	必要性の理由 が	容・であった原因>	○
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必 が実施する必要性 (2)市が実施する必要性 (2)市る実施の必要性 がった。 (本制づくり) 環境(に配慮して事業を いるか?	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達ない。 は速速では、 は速すい、 にはいるでは、 のでいる。 ににににいる。 とでは、 のでは	を線しをと 付るい きとにと り 内 りりりし せ事見 る 項目 目 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 評 価 間間	D19駅のうち、我務も性のうち、大きなもりには乗り用車のでは、大きなの間を持っている。 大きなのでは、大きなのでは、大きなのではない。 大きなのではない。 大きなのではない。 大きなのが、 大きない。 からない。 からない	系子駅・天王台駅 ・大きが、 ・大きが、 ・大きが、 ・大きでである。 ・大きでは、 ・たさでは、 ・たでは、 ・たでは ・たでは、 ・たでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 とでは、 ・とでは、 ・とでは、 ・とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JのR東 はメロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした □②目前な業で役と □③市が生き導作とになる。 (現在では、で進し、で進さを持った。 (現在の支援が、の世)・「のその他の内容 > またが、 (項目)・「のもの を参加・協働が を参加・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・	想 理 理 POかな 策が定 が定 が定 が を が を が た が た が た が た り ん り る ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	おり おりでなかった かかった がから 想定 どおりでなかった かかった がから では 体等性 保 保 学が 不 実 され と と 具体的な 内容 と 具体的な 内容 に は で (%6) /b×100)	なかった原因> 実施できなかった原因> 実施のた 層 にた た (又は今後、	に応じ、改善等 3 で	繁検討(拡充も含む をの具体的な内容・・ 参加上たりしたと下の以上となった理 定定どおりでなかった原 でなかった原 を成となった原因>	必要性の理由 働の程度 内 型由 / 期待以下 竟への配慮 た 環因 > 費の削減対策	容・であった原因>	○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1) 事業が今必要である。 背景は?(事業の必 (2) 市が実施の必要性) (2) 市がる実施のの必要性) 市工人ののでいり) 市工人制づくりり) 市工人制がでいるか? (体制づくりり) (体制ができない。)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達なでは、	を主はて続て、等と でよに 政 容 でよいて	型行されてイントでする。 はいい はいい はい は	前 品質 は	の19駅のうち、我孫主とのうには、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	系子駅・天王台駅・大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JのR東 はメロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした ②電子のでは、 N 進 での: ②では、 N 進 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	想 E P D D A C T	おり おりでなかったが 想定どおりでなかりでは なかりではないでは な等性民実で市標の目標。 ではないでは ないではないでは ないではないでは ないではないでは、 ないではないでは、 とは、 とは、 とは、 ないでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	なかった原因> 実施できなかった アンドックできなかった アンドックでは できなかった では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	に応じ、改善等 3 で	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以上にしたという。 が別期待したと下のに理 で定とがよりでなかった原 となった原因〉	必要性の理由 / 動の程度 内	容であった原因>	○
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+) 評価項目 (1) 事業が今必要である。 背景は?(事業の必要である。 背景は?(事業の必要性) (2) 市かま施する必要性 (2) 市かまたの必要性) 参加・協働のエ大夫制づくりり は境に配慮して事業をにいるか? (1) 目標設定は適切か?	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達生 大流 は望す 下ににしめで と は と 本	を線しをと 体るい きとこるよ の り り り し で が ありよ 策 容 い いを か で が ありま 策 で か で が か で が もりま で が もりま で が もりま で で が もりま で で で で で で で で で	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 副	の19駅のうち、我孫子郎のうち、我孫も性でのうと、 大阪の人名字では、 大阪の人名字では、 大阪の人名字では、 大阪の大名字では、 大阪の子では、 大阪	系子駅・天王台駅・大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 スロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした ②②市が発生のでのでは、 N 進 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	想 E P D D A C T	おり おりでなかったが 想定どおりでなか 市にとというでは 特性が合き、実 ではないでは 特性がなき、まさも はないではないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは ないでは	なかった原因> 実施できなかった原因> 実施のた 層 にた た (又は今後、	に応じ、改善等 3 で	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・ 参加 上たりした以上 おりしたと下 したとと下 した以上 おりりでなかった 原 定定どおりりでなかった 原 となった 原因〉	必要性の理由 働の程度 内 目由 / 期待以下 意への配慮 た 環因 > ・	容 であった原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指植 2.事業の評価(D0+) 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性 ある実施の必要性) (2)市かの必要性) 参加・協働のエ大制づくりり (本制づくりり) 環境(こ配慮して事業をにいるか?) (1)目標設定は適切か?	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達なでは、	を線しをと 体るい きとこるよ の り り り し で が ありよ 策 容 い いを か で が ありま 策 で か で が か で が もりま で が もりま で が もりま で で が もりま で で で で で で で で で	型行うこの終す。 ですている です	前 品質 は	の19駅のうち、我孫主とのうには、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	系子駅・天王台駅・大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 スロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした □②目前な業で役と □③市が生き導作とになる。 (現在では、で進し、で進さを持った。 (現在の支援が、の世)・「のその他の内容 > またが、 (項目)・「のもの を参加・協働が を参加・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・協力・	想 E P D D A C T	おり おりでなかったが 想定どおりでなか 市にとというでは 特性が合き、実 ではないでは 特性がなき、まさも はないではないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは ないでは	なかった原因> 実施できなかった原因> 実施のた 層 にた た (又は今後、	に応じ、改善等 3 で	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・ 参加以上 初初期待したと下 した以とすった理 定とどおりでなかった原 とどおりでなかった原 とどおりでなかった原 とどおりでなかった原 とびるかった原 とびるかった原	必要性の理由 働の程度 内 目由 / 期待以下 意への配慮 た 環因 > ・	容 であった原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1) 事業が今必要である。 背景は?(事業の必要である。 背景は?(事業の必要性) (2) 市かま施っの必要性) (2) 市かまたのの必要性) 参加・協働の工夫制づくりり) 環境への配慮 (1) 目標設定は適切かっては、は適切かっては、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達生 大流 は望す 下ににしめで と は と 本	を線しをと 体るい きとこるよ の り り り し で が ありよ 策 容 い いを か で が ありま 策 で か で が か で が もりま で が もりま で が もりま で で が もりま で で で で で で で で で	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 品質 は	の19駅のうち、我孫主とのうには、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	系子駅・天王台駅・大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 スロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした ②②市が発生のでのでは、 N 進 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	想 E P D D A C T	おり おりでなかったが 想定どおりでなか 市にとというでは 特性が合き、実 ではないでは 特性がなき、まさも はないではないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは ないでは	なかった原因> 実施できなかった原因> 実施のた 層 にた た (又は今後、	に応じ、改善等 3 で	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・ 参加以上 初初期待したと下 した以とすった理 定定どおりでなかった原 となった原因> 事前の想	必要性の理由 働の程度 内 目由 / 期待以下 意への配慮 た 環因 > ・	容 であった原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指摘 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1)事業が今必要である。 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施施っの必要性) (2)市かる実施の必要性) (2)市かる実施の必要性) (3)市の表現を表現である。 (4)市の表現を表現である。 (5)市の表現を表現である。 (6)市の表現である。 (7)市の表現である。 (8)市の表現である。 (8)市の表現である。 (9)市の表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (1)目標には適切かって表現である。 (2)中心には適切かって表現である。 (3)中心には適切かって表現である。 (4)中心には、10日	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速は大きない。 はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	を繰しをと M るい きとこるよ の J J J J J J J J J J J J J J J J J J	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 品質 は	の19駅のうち、我孫主とのうには、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	系子駅・天王台駅・天王台駅・大井 大き 大大 大き が、たまが、たまが、たまが、たまが、たまでである。 ない 大大 大き できます かく アン・ファイン アン・ファイン はいます できます かく アン・ファイン はいます できます かく アン・ファイン はいます できます アン・ファイン はいます できます かく アン・ファイン はいます できます かく アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます できます アン・ファイン はいます アン・ファン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいます アン・ファイン はいままり アン・ファイン アン・ファイン はいます アン・ファイン アン・	Rを含む4駅の 品川以南の東 には、JR東 スロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした □②日本 ○②事前確認での: 想定という ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○③日本 ○○□の ○③日本 ○○□の ○□の ○○□の ○○□	想 E P D D A C T	おり おりでなかったが 想定どおりでなか 市にとというでは 特性が合き、実 ではないでは 特性がなき、まさも はないではないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは はないでは ないでは	なかった原因> 実かなかった原因> 実が及いできなかった。 層にした た (その内容) 目目標標準達を記した できなかる。 (その内容) 目目標標準達を記した できなかる。 (その内容)	に応じ、改善等 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・ 参加以上 初初期待したと下 した以とすった理 定定どおりでなかった原 となった原因> 事前の想	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指植 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1) 事業が今必要である。 背景は?(事業の必要である。 背景は?(事業の必要性) (2) 市かま施っの必要性) (2) 市かまたのの必要性) 参加・協働の工夫制づくりり) 環境への配慮 (1) 目標設定は適切かっては、は適切かっては、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達ない。 「はいます」 は、	を繰しをと M るい きとこるよ の J J J J J J J J J J J J J J J J J J	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 評 価 間間	D19駅のうち、我務も 19駅のうち、本教を 19日間の 19回の 19回の 1	系子駅・天王台駅・大大大の 系子駅・大大大の 大大大の上す駅の発車 ででする。 体的な内容 でするでする。 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	Rを含む4駅の 品川以南の東 によってディを地 く はメロディを地 く には、JR東 く には、JR東 く には、JR東 く く には、JR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く く く く く く く く く く く く く く く く く く	○②事前確認での: 想定どおりとした □②日本 ○②事前確認での: 想定という ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○②日本 ○③日本 ○○□の ○③日本 ○○□の ○□の ○○□の ○○□	想 理 Po b a c k b s k k k k k k k k k k k k k k k k k	おり おりでなかった。 想定どおりでなかった。 たればというでは、 たればと、 をきは盤がで、 をきないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> 実施のた 層 まかながる 実施のた 層 た (又は今後、 〇①② 標標 達 定 定 想 定 を 定 を で で で で で で で で で で で で で で で で	C	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以と下の上したしたりしたした時となったを明期の別にない。 では、おりのでは、おりのでは、ないった。 「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+ 評価項目 (1) 事業が今今必要薬の必 背景は?(事業の必 (1) 事なのの必要薬薬の必 (2) 市がるが、での必要性) (2) 市がるが、での必要性) (本) おいるのでしていないののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達ない。 「はいます」 は、	を繰しをと M るい きところよ の 1 9 1 9 1 9 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	前 評 価 間間	D19駅のうち、我孫 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19駅のうち、本列 19日 (19)の 19日 (19	系子駅・天王台駅・大大大の 系子駅・大大大の 大大大の上す駅の発車 ででする。 体的な内容 でするでする。 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	Rを含む4駅の 品川以南の東 によってディを地 く はメロディを地 く には、JR東 く には、JR東 く には、JR東 く く には、JR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く く く く く く く く く く く く く く く く く く	○②事前確認での: 想定どおりとした N進とした N進の 学 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	想 理 Po b a c k b s k k k k k k k k k k k k k k k k k	おり おりでなかっただ おしています。 おしています。 おしています。 おしています。 おもは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> 実かなかった原因> 実が及いできなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 「できないなった。 「できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	C	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以と下の上したしたりしたした時となったを明期の別にない。 では、おりのでは、おりのでは、ないった。 「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 「1) 事業の評価(D0+) 「1) 事業が今の必要である。 「1) 事業が今の必要要素の必要性 (1) 事業が今の必要要素の必要性 (2) 市が最初実施の必要性 「1) 市ののののの必要性 「1) 事業を対している。 「1) 目標により、「1) 目標により、「1) 目標により、「2) 事業を対し、「3) 目標により、「4) 事業を対し、「4) 事業を対し、「4) 事業を対し、「5) 事業を対し、「6) 事業を対し、6) 事業を対し、「6) 事業を対し、6) 事	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	は速速達ない。 「はいます」 は、	を繰しをと 付るい きとにと り 内 りりりし せ事見 る 項 【 額 (d) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	では、	前 評 価 間間	D19駅のうち、我務も 19駅のうち、本教を 19日間の 19回の 19回の 1	系子駅・天王台駅・大大大の 系子駅・大大大の 大大大の上す駅の発車 ででする。 体的な内容 でするでする。 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	Rを含む4駅の 品川以南の東 によってディを地 く はメロディを地 く には、JR東 く には、JR東 く には、JR東 く く には、JR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く には、MR東 く く く く く く く く く く く く く く く く く く く	○②事前確認での: 想定どおりとした N進とした N進の 学 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	想 理 Po b a c k b s k k k k k k k k k k k k k k k k k	おり おりでなかった。 想定どおりでなかった。 たればというでは、 たればと、 をきは盤がで、 をきないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> 実かなかった原因> 実が及いできなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 「できないなった。 「できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	C	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以と下の上したしたりしたした時となったを明期の別にない。 では、おりのでは、おりのでは、ないった。 「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 「中華 (1) 事業 (1) 事業 (2) 市 (3) 目標 (2) 事業 (1) 目標 (2) 事業 (1) 目標 (3) 目標 (4) 要要 (2) 事業 (1) 目標 (4) 要要 (4) 要性 (3) 目標 (4) 要要 (4) 要性 (3) 目標 (4) 要要 (5) 等数 (6) 等数 (6) 等数 (6) 等数 (6) 等数 (6) 等数 (6) 等数 (7)	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	は速速達ない。通過はに 下等にも ると連れていい。 通過は 下等にも るとは、 通過を では、 は望す 市実し 推め供証こる おって、 は望す 市実し 推め供証こる おって、 は望す 市実し がって、 は望す 市実し がって、 は望す 市で、 がで、 はいるる で、 はいる はいる にいる で、 はいる	を繰しをと 付るい きとにと り 内 りりりし せ事見 る 項 【 額 (d) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(行きつき) は (できない) などとと (できない) は (できない) は (できない) などとと (できない) は (できな	前 評 価 間間	D19駅のうち、我務を 19駅のうち、本列を 19駅のうれる業 10月を 19駅のうれる業 19月のでは、 19日のでは、 19日	系子駅・天王台駅・大大大の 系子駅・大大大の 大大大の上す駅の発車 ででする。 体的な内容 でするでする。 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 なり、クロードでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	Rを含む4駅の 品川以内の東東 はメロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした N進とした N進の 学 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	想 理 Po b a c k b s k k k k k k k k k k k k k k k k k	おり おりでなかった。 想定どおりでなかった。 たればというでは、 たればと、 をきは盤がで、 をきないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> 実かなかった原因> 実が及いできなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 下できなかった。 「できないなった。 「できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	C	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・・参加以と下の上したしたりしたした時となったを明期の別にない。 では、おりのでは、おりのでは、ないった。 「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(事業費/活動結果指標 2. 事業の評価(D0+) 「中華 (1) 事情 (2) 市 (4) 事情 (2) 市 (4) 事情 (4) 事業 (2) 市 (4) 事業 (4) 事業 (2) 事業 (4) 事業 (5) 事業 (5) 事業 (5) 事業 (6) 事業 (6) 事業 (6) 事業 (6) 事業 (6) 事業 (7) 事業	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	は速速達ない。通過はに 下等にも ると連れていい。 通過は 下等にも るとは、 通過を では、 は望す 市実し 推め供証こる おって、 は望す 市実し 推め供証こる おって、 は望す 市実し がって、 は望す 市実し がって、 は望す 市で、 がで、 はいるる で、 はいる はいる にいる で、 はいる	を繰しをと 団体るい きところよ り 内 リリリし て すまに で が ありよ 策 容 い る進本	(行う) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	前 評 価 間 に	D19駅のうち、我務を 19駅のうち、本列を 19駅のうれる業 10月を 19駅のうれる業 19月のでは、 19日のでは、 19日	系子駅・天王台駅・大大の系・大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の大大の	Rを含む4駅の 品川以内の東東 はメロディを地 く	○②事前確認での: 想定どおりとした N進とした N進の 学 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	想 理 Po b a c k b s k k k k k k k k k k k k k k k k k	おり おりでなかった。 想定どおりでなかった。 たればというでは、 たればと、 をきは盤がで、 をきないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なかった原因> 実かな	C	案検討(拡充も含むを検討)(拡充も含むをを使う)を表したとなり。 まま はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	必要性の理由 動の程度・内の配慮 た 一	容 であった原因> について かった かった	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

	ŧ				事務 事	不可圖玖(ገጥ 4	一十戌/							
事業コー	F	16		課コード	0201		会計種別	一般会計			予算 <i>σ</i>	D種類 ■	I政策	□経常	□なし
1. 事業(の概要(PLAN)														
		①事業名	基本事業					実施計画へ	o l	○有 ●無		②部課名	小面肚亚部	. 小面理	
						位置づけ					企画財政部	・企画課			
(1)事業概要		③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ	その他(平成3	1年度 ~ 令和 3年度	④対象地区 ⑥担当職員数	□我孫	子 □天王台	口湖北 5 人	□新木 (換算人数	口布佐				
		⑦事業費		1-1920					(当 初)	17,	437 千円	(うち人件費		1.56 人) 13,572 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開始)4	(変更後)		千円	(うち人件費			
		 ⑧施策の位置づけ	施策	83101				基本計画地区 計画への位置		○有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
		施策目的・	·	十画に基づく総合的・詞	計画的な行政運営を行うため、各種	 重計画や部門間との調響	を図り、施			び基本計画、実施計画	を策定し、		 ることにより	、事業の確実な	実施を確保し
(2)目的		展開方向			るとともに、財政計画と整合した、より効果的で効率的な実施計画を こより部門横断的な行政課題に的確に対応します。			事業目的	構想・計画	『に掲げる施策の目的を	実現する。				
					合わせて、また、市を取り巻く環境 実施計画の進行管理を行う。	竟の変化に的確に対応す	きるよう、			事業の事後報告:9月 事業の事前評価:5月					
				られた事業に計画変更の に実施計画を変更する。	D必要が生じた場合は、事業を確実に実施することができるよう、所			当該年度 執行計画		₹事業の進行管理:通年 計画の策定:通年(基			計画審議会.	策定委員会、作	業部会)
(3)事業内容		内 容		必要が生じた事業につい	いては、事業の必要性や緊急性を			本計画の見直し:通年				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
			年度当初に市長が	バ進行管理を行う指定 ^薬	事務事業を定め、当該事業の所管部局長は、10月に中間報告を行 直ちに問題点対応報告を提出し、翌年度に事後評価を行う。			当該年度		業数			単位	想定值数	
(A) \= -B = I=	(HD (* - - - - - - - - -			と計画年度とする総合語	計画について、2022年度からの			活動結果指		15	1=			実績値	(A) E I T I
当該年度	(期待する成果)	実施計画の進行管:	理を行い、計画に低	達成目標 位置付けられた事業を	票(期待する成果) 確実に実施する。			指標種類 直接		指 (実施済事業数/実施		()	単位 %	(5) 現況値	(6)目標(
	*	実施計画の進行管:	理を行い、計画に位	立置付けられた事業を	確実に実施する。			-	事業実施率	· 《実施済事業数/実施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1)		100	1
令和 3年				立置付けられた事業を				直接		(実施済み事業数/実			%		
令和 4年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	人加引出 00 起门目	46110 (III E1C)	全世間17 540に手木と				直接	7 7 7 10 7		T		%		
(7)事業実施.	上の課題と対応							代替案検討	া	○有 ●無					
			平成31年度			令和 2年度		1		令和 3年度			令和	4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(刊	円)決算額	頃(千円) 政策	内	容	金額(千円)	政策	内 容		金額(千円
		* 【次期総合計画 * 総合計画審議会		350	* 【第四次総合計画の策定】 * 総合計画審議会委員報酬		700	* [第四次総合計画の 合計画審議会委員		35		の進行管理】 計画第1期実	塩計画の	
		3, 500円]×25人×4回		3,500円×25人×8回			3	,500円×25	5人×4回	00	進行管理		ルピローロック	
			:委員用お茶購入費	71	135円×1.10×20本 * 総合計画に係る会議録作成業務 511 14,500円×32時間×1.10				合計画審議会委員用お茶購入費 135円×1.10×20本 合計画に係る会議録作成業務				計画に係る印	刷製本費	
	A-15.1	*:総合計画に係る		745					15,000円>	:1. 10×16時間	26				
(8)施行事項	実施内容 費 用	15,750 *: 総合計画策定業							合計画策定支援第 継続費31年~3		4, 62	27			
、-, 11011 平快			計番用ICレコーダ	15	* 総合計画策定に係る消耗品 23										
		13, 400	iの見直し i印刷製本費 55 管理						実施計画の進行管	F理】					
		*:第三次基本計画 *:第三次基本計画							第四次総合計画第 けた検討	51期実施計画に					
		実施計画の進行			* 第10期実施計画に係る印刷 220円×200部×1.1		49		第三次総合計画第 行管理	第10期実施計画の					
			画に向けた検討		企画調整業務を行う会計年度	任用職員	251			6会計年度任用職員		企画調整業	を業務を行う会計年度任用職員		
	予算(決算)額		計	6, 671	2,510千円*0.1		865		2,510千円*0.1		25 5, 49	51 2,510千F		十次证刑领员	3
	国庫支出金	補助率補助率	0 %	0	補助率	0 %	0	補具	り率	0 %	,	0 補助率 0 補助率	н н	0 % 0 %	
(9)財源内訳	起債	充当率	0 %		1	0 %	0		当率	0 %		0 充当率		0 %	3
	その他の財源	□特会 □受持	益 □基金 □その他		○ □特会 □受益 □基金 □その他 0				□特会 □受益 □	基金 口その他	,	0 □特会 □受益 □基金 □その他 1.56			
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費			1. 56 13, 728			572				13, 57	72			1. 8, 8
	嗎託 職員 報酬 額 臨時 職員 賃 金額			0			0					0			
(11)単位費用				20, 399	348. 74∓₽		437				19, 06	57			9, 1
	/活動結果指標) グ評価 (DO+CHEC K	<u> </u> }	107. 00 1 1 30		010.7111	17 94									
	平価項目			車が			Т		車 後	証 価 (証価結果には	1° 改盖家	『焼計(拡充も今む	.))		改善検
		基本構想や基本計	画、実施計画に基づ		・ 行政運営を進めていくうえで必要:		事 後 評 価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 〇①事前確認での想定どおり							7.11	
	が今必要である理由・	,					○②事前確認での想定どおりでなかった							O要	
背景	ま?(事業の必要性)						< t	想定どおりとした	た理由/想定どお	りでなかった原因>					〇不到
			IPO、市民団体等		<その他の内容>					・では実施できなかった	- <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由	>	
必 要		□提供主	体が市しかない	とが定められている				③市が先導役と	めなければ実効性 なったことで市員						
14	実施する必要性は	□その他					促進された ④市の支援が政	策・施策の目標の)実現に貢献した						
ある	5 \?		市が推進すべきで 導で進めることに。	ある より実効性が得られる	<その他の内容>					Rされた					〇要 〇不到
大印)	施の必要性)		施・提供することに スが保証される	こより、良質で安定した	ta		⑦その他 その他の内容>								
			援することによりI 図られる	牧策・施策の目標の											
		□その他		da da		4h +> ch ch		実施した参加	・協働の具体的な	内容(又は今後、		<i>to</i> !−	ほった ・	oto .	
		参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施			エ夫の具体 総合計画審議会として市民に委		各世代		が考えられる場合		O①当	参加・協 初期待した以上	働の程度・内	谷 ————————————————————————————————————	
参加						の意見を幅広く聴く場を設け、計画を策定する。					0②当社	初期待したとおり 初の期待以下			
協工夫して	加や市民との協働を いるか?										た以上となった理	由/期待以下	であった原因>	O要 O不到	
^圏 の (体制づ エ 夫	(9)									1,771,171	こ	with w 1.		3/1/3	
夫		〇⑥その他			A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR		J								i
		○⑥その他 <その他の内容>													
			到帝小护上		Th of L	内突			宇体 した見けやさ	内突		700 14	· · ·		
		< その他の内容> □①自然環境を生			取組む	内容			実施した具体的な	内容		定どおり	きへの配慮		
璟	巻 ア宙楽ナルムー	マイス	かしている している むしている		取組む	内容			実施した具体的な	内容					
環	慮して事業を進めて	<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共存	かしている している むしている		取組む	内容			実施した具体的な	内容	0②想象	定どおり	Ė		〇要
環		○ (その他の内容> (○ () () () () () () () () () () () () ()	かしている している むしている		取組む	内容			実施した具体的な	内容	0②想象	定どおり 定どおりでなかった	Ė		
環		<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と東高 □③東等沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容>	かしている をしている もしている はに貢献している	ことから、該当しない。		内容			実施した具体的な	内容	0②想象	定どおり 定どおりでなかった	Ė		
環		<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と東高 □③東等沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容>	かしている をしている もしている はに貢献している		目標値の妥当性のチェッ				花状 況	○①目標値達成	○②想知	定どおり 定どおりでなかった	Ė		
環境に配っているか?			かしている をしている をしている はに貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%)	■①客観的なデー □②現況値と比べ	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない		*			○①目標値達成 ○②目標値未達	○②想: <想定ど 対	定どおり 定どおりでなかった 『おりでなかった原	Ė		〇 不 要
環境に配っているか?		<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共高 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 計画の策定や事業・	かしている をしている をしている に貢献している の進行管理である。	■①客観的なデー □②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	ל		達成	t状況 達成率(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達	○②想: <想定ど 対	定どおり 定どおりでなかった	Ė		〇 不 弱
環境に配っているか?		<その他の内容> ○①自然環境を生口②生き物と共有□③手質沿を意識□●⑤その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%)	かしている をしている をしている はに貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%)	■①客観的なデーロ②現況値と比べロ③現況値との差	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	ל		達成 建績値 (f) (%)	t状況 達成率(%)	○①目標値達成○②目標値未達<目標を達成した○①想定事業費	○②想示 <想定ど 或 理由/未達	定どおり 定どおりでなかった原 おりでなかった原 成となった原因>	Ė	について	〇 不 要
環境 環境に配 の配慮 (1)目標		<その他の内容> ○①自然環境を生口②生き物と共有□③手質沿を意識□●⑤その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%)	かしている している している に貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減額(d)	■①客観的なデーロ②現況値と比べ口③現況値と比べ口③現況値を必該対同等の水準で	目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	ク る目標値(と現況値の差 I 等民間資本の活用	ع (د	達成 建績値 (f) (%)	i状況 達成率(%) (f/b×100) it状況 対事業費(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した	○②想記 <想定ど 或 理由/未達 未満 業費以内	定どおりでなかった原 定どおりでなかった原 ばとなった原因> 事業 ○①事前の想	で 因> 費の削減対策 定どおり		〇 不 要
環境への配慮 (1)目標!		<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共命に過過等質沼を意識。 ⑤ その他 <その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%) 100 対策実施によ	かしている としている としている に貢献している に貢献している 目標値(b)(%) 100	■①客観的なデー □②現況値と比之の差別況値との差□④適当な比較対同等の水準で □①国・保制で制の回③維持管理費の	日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤ P F 対応 ロ⑥ 受益	ク る目標値(と現況値の記 I 等民間資本の活用 者負担	ع (د	達成 接値 (f) (%) 実施	就状況 達成率 (%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事	○②想記 <想定ど 或 理由/未達 未満 業費以内	定どおり 定どおりでなかった原 おりでなかった原 成となった原因> 事業 〇①事前の想	さ 因> 数の削減対策 定どおりでな	かった	O 不要 O 要 O 不 要
環境への配慮 (1)目標:	役定は適切か?	<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共命に過事環境有低調 ⑤その他 <その他の内容>計画の策定や事業 現況値(a)(%) 100 対策実施によ事業費(c)(千円) 17,437	かしている している している に貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円)	■①客観的なデーロ②現況値と比べ回③現況値との差回4適当な比較対同等の水準で回り国・県助成制■②現有体制での	日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤ P F 対応 ロ⑥ 受益	ク る目標値(と現況値の記 I 等民間資本の活用 者負担	(大)と (実)	達成 接値 (f) (%) 実施	i状況 達成率(%) (f/b×100) it状況 対事業費(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事	○②想記 <想定ど 或 理由/未達 未満 業費以内	定どおりでなかった原 定どおりでなかった原 ばとなった原因> 事業 ○①事前の想	さ 因> 数の削減対策 定どおりでな	かった	O 不到 O 要 O 不 O 要 O 不 O 要
環境への配慮 (1)目標:	役定は適切か?		かしている している している に貢献している に貢献している 目標値(b)(%) 100 る事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%)	■①客観的なデーロ②現況値と比べ □③現況値と比べ □④通当な比較対同等の水準で □①国・県助成制 ■②銀持持電費の □④民間委託	日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤ P F 対応 ロ⑥ 受益	ク る目標値(と現況値の記 I 等民間資本の活用 者負担	(大)と (実)	達成 接續値(f)(%) 実施 横値(g)(千円)	i状況 達成率(%) (f/b×100) it状況 対事業費(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事	○②想記 <想定ど 或 理由/未達 未満 業費以内	定どおり 定どおりでなかった原 おりでなかった原 成となった原因> 事業 〇①事前の想	さ 因> 数の削減対策 定どおりでな	かった	〇 不引 〇要 〇不引
環境への配慮 (1)目標:	役定は適切か?		かしている としている としている に貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962	■①客観的なデーロ②現況値と比べ □③現況値と比べ □④通当な比較対同等の水準で □①国・県助成制 ■②銀持持電費の □④民間委託	日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤ P F 対応 ロ⑥ 受益	ク る目標値(と現況値の記 I 等民間資本の活用 者負担	(大)と (実)	達成 接續値(f)(%) 実施 横値(g)(千円)	i状況 達成率(%) (f/b×100) it状況 対事業費(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達<目標を達成した○①想定事業費 ○②概ね想定事○③想定事業費	○②想示 <想定ど 或 理由/未達 未満 以内 超過	定 どおり でなかった 原定 どおりでなかった 原因 となった 原因 > 「成 となった 原因 > 「事前 の 想 <想定 どおり 削	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不 ○ 不 ○ ○ 要 ○ ○ 不 ○ ○ 不 ○ ○ 不
環境への配慮 (1)目標! 効率性 (3)目標!	役定は適切か? 費削減の工夫をして か?	<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共有□③手質沼を意調■⑤その他 <その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%) 100 対策実施によ事業費(c)(干円) 17,437 事業費削	かしている としている としている にて貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%)	■①客観的なデーロ②現況値と比べの意況に値とのを対しる適等の水準での事の水準での事を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	日標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その	ク る目標値(と現況値のを I 等民間資本の活用 者負担 他	(大	達成 実施 (f) (%) 実施 (f) (F) (F) (E) (F) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	 读求平(%) (f/b×100) 每状况 对事業費(%) (g/c)×100 	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費 ○③包度事業費	び 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	定どおり 定どおりでなかった原 おりでなかった原 成となった原因> 事業 〇①事前の想	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要
環境(の配慮 (1)) 目標: (3) 目標: (3) 目標: (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	设定は適切か? 整削減の工夫をして か?	<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共有□③手質沼を意調■⑤その他 <その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%) 100 対策実施によ事業費(c)(干円) 17,437 事業費削	かしている をしている にている にている にでである。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%)	■①客観的なデーロ②現況に値と比べ差別に値と比べ差別に値といき対しる。 □④適等の水準で □①国・保味制で制制をである。 ■②現特管理費の日④民間委託 <削減の内容>	日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない。 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 ロ⑤PF 対応 ロ⑥受益 削減策の実施 ロ⑦その	ク る目標値(と現況値の差 I等民間資本の活用 者負担 他 ま 単位/事業費	実	達成 接植(f)(%) 実施 接値(g)(千円) 迢過理由等>	対状況 達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費	び 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	定 どおり でなかった 原定 どおりでなかった 原因 となった 原因 > 「成 となった 原因 > 「事前 の 想 <想定 どおり 削	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要
環境(の配慮 (1)) 目標: (3) 目標に開いて (3) 目標に関いて (3) 目標に関いて (4) 事業(4) 目接ば関いて (4) 事業(4) 目標に関いて (5) 事業(5) に関いて (5) を持ちます。	設定は適切か? 費削減の工夫をして か? 直を実現する為に る事業費は適正か? 対費用)	<その他の内容> □①自然環境を生□②生き物と共有□③手質沼を意調□④環境負荷低減■⑤その他 <その他の内容>計画の策定や事業・現況値(a)(%) 100 対策実施によ事業費(c)(千円) 17,437 事業費削	かしている としている としている に貢献している の進行管理である。 目標値(b) (%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%)	■①客観的なデーロ②現況に値と比べ差別に値と比べ差別に値といき対しる。 □④適等の水準で □①国・保味制で制制をである。 ■②現特管理費の日④民間委託 <削減の内容>	日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 本 対応 □⑥ 受 本 削減策の実施 □⑦その	ク る目標値(と現況値の差 I等民間資本の活用 者負担 他 ま 単位/事業費	実	達成 実施 (f) (%) 実施 (f) (F) (F) (E) (F) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	读成率(%) (f/b×100) 5状況 対事業費(%) (g/c)×100 な状況 対目標値(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費 ○③包度事業費	び 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	定 どおり でなかった 原定 どおりでなかった 原因 となった 原因 > 「成 となった 原因 > 「事前 の 想 <想定 どおり 削	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要
環境への配慮 (1)目標: 対効率性 (3)目標に開発して、(3)事業(3)目標に関係して、(3)事業(4)目標に関係して、(4)の配慮 (3)を表して、(4)の配慮 (4)の配慮 (股定は適切か? 費削減の工夫をして か? 直を実現する為に る事業費は適正か? 評価		かしている している している に貢献している の進行管理である。 目標値(b)(%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 滅率(%)	■①客観的なデーロ②現況値と比べ差別況値と比べ差別況値位と較対同等の水準で回①国・保制で制御回②銀持等重託 <削減の内容> 費用単位 10万円	目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 □⑤ P F 方応 □⑥ 受益削減策の実施 □⑦その 計算方:	ク る目標値(と現況値の差 I 等民間資本の活用 者負担 他 ま 単位/事業費 現況値)×費用単位/事	実	達成 実施 (f) (%) 実施 (f) (F) (F) (E) (F) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	读成率(%) (f/b×100) 5状況 対事業費(%) (g/c)×100 な状況 対目標値(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費 ○③包度事業費	び 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	定 どおり でなかった 原定 どおりでなかった 原因 となった 原因 > 「成 となった 原因 > 「事前 の 想 <想定 どおり 削	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要
環境(の配慮 (1)) 目標: (3) 目標: (3) 目標: (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	股定は適切か? 費削減の工夫をして か? 直を実現する為に る事業費は適正か? 評価		かしている している している に貢献している 同様(b) (%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%) .52 目標値対事業費(e) 単位 %	■①客観的なデーロ②現況値と比べ差別況値と比べ差別況値位と較対同等の水準で回①国・保制で制御回②銀持等重託 <削減の内容> 費用単位 10万円	目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない。 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦その 計算方: ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-更	ク る目標値(と現況値の差 I等民間資本の活用 者負担 他 ま 単位/事業費	実	達成 実施 (f) (%) 実施 (f) (F) (F) (E) (F) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	读成率(%) (f/b×100) 5状況 対事業費(%) (g/c)×100 な状況 対目標値(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定費 ○③想定事業費 ○③割に事業費 ○③割に事業費	び 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	定どおりでなかった原 定どおりでなかった原 成となった原因> ■	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要
環境への配慮 環境への配慮 (1)目標! (2)事業(3)目標に係り、(3)目標に関係して、(3)事業(5)目標に関係して、(4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	股定は適切か? 費削減の工夫をして か? 直を実現する為に る事業費は適正か? 評価		かしている している している に貢献している 同様(b) (%) 100 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) 2,962 減率(%) .52 目標値対事業費(e) 単位 %	■①客観的なデーロ②現況値と比べ差別況値と比べ差回③現況に値とを対対 同等の水準で □①国・保助成制の回③維持管理費の回④民間委託 <削減の内容>	目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 □⑤ P F 方応 □⑥ 受益削減策の実施 □⑦その 計算方:	ク る目標値(と現況値の差 I 等民間資本の活用 者負担 他 ま 単位/事業費 現況値)×費用単位/事	実	達成 実施 (f) (%) 実施 (f) (F) (F) (E) (F) (E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	读成率(%) (f/b×100) 5状況 対事業費(%) (g/c)×100 な状況 対目標値(%)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定費 ○③想定事業費 ○③割に事業費 ○③割に事業費	○②想想 <想定ど ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	定どおりでなかった原 定どおりでなかった原 成となった原因> ■	を表しています。 をましています。 をましています。	かった	○ 不要 ○ 不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要